

道東自動車道 占冠PA工事

参 考 図

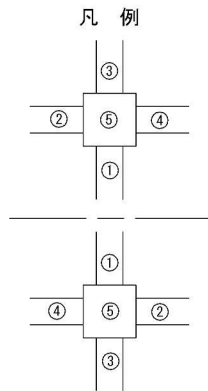
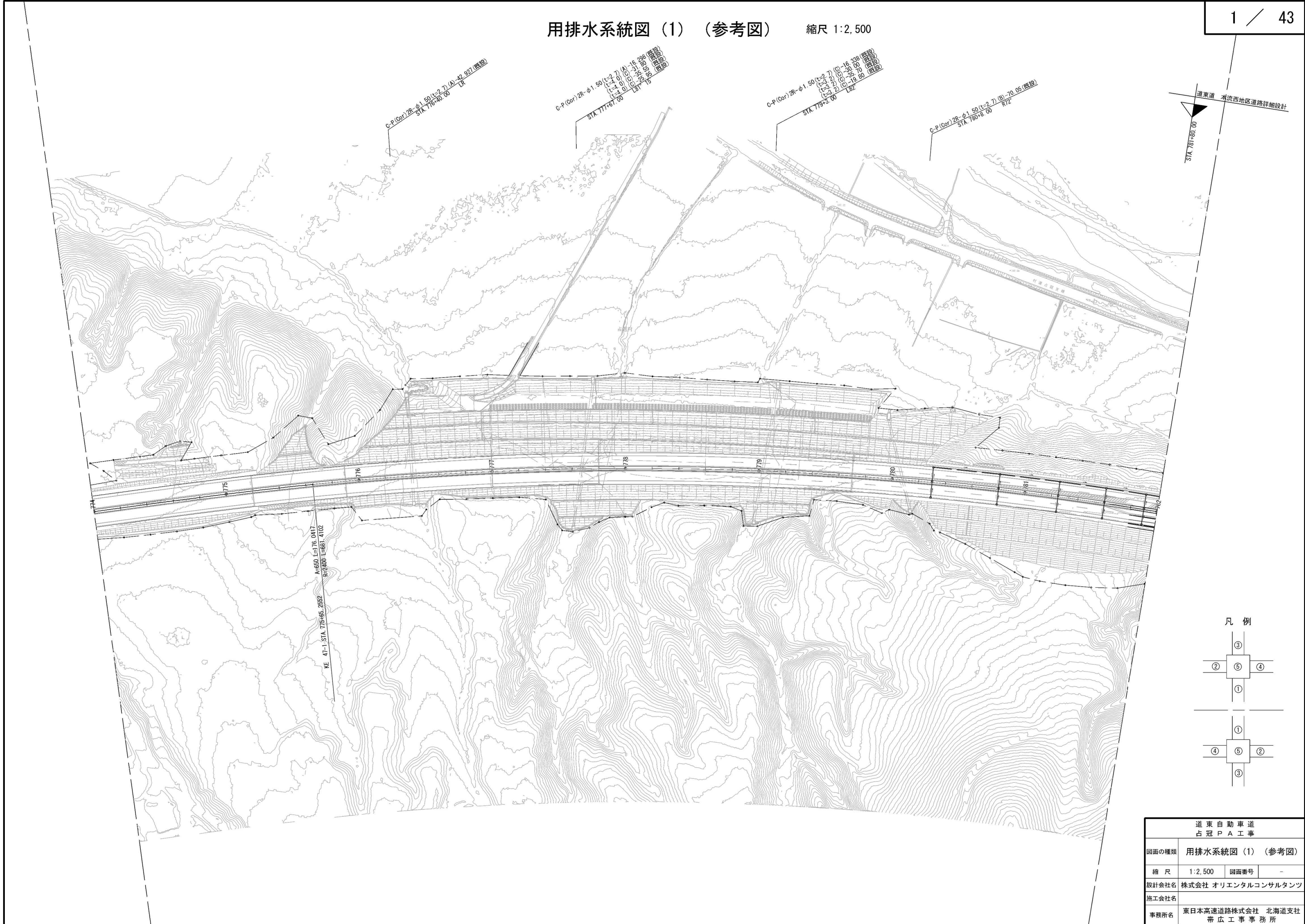
令和6年4月

東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所

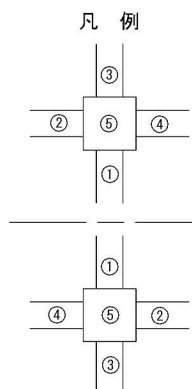
目 次

No	図面の種類	図面番号
1	用排水系統図 (1) ～ (15)	1 ～ 15
2	STA. 811+42. 088 C-Box (P) 配筋要領図	16
3	STA. 818+91. 720 C-Box (P) 配筋要領図	17
4	STA. 803+07. 001 ボックスカルバート施工計画図	18
5	STA. 811+42. 088 C-Box (P) 施工計画図 (1) ～ (2)	19 ～ 20
6	STA. 819+91. 720 C-Box (P) 施工計画図 (1) ～ (2)	21 ～ 22
7	夜間作業時概略施工図 (1) ～ (2)	23 ～ 24
8	迂回路施工ステップ図 (1) ～ (14)	25 ～ 38
9	仮栈橋A 施工計画図	39
10	落石防護柵施工計画図	40
11	交通規制図	41
12	落石防護柵 保管場所位置図	42
13	土砂防止柵詳細図	43

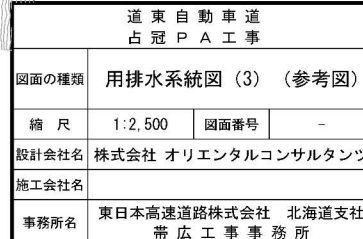
用排水系統図 (1) (参考図) 縮尺 1:2,500

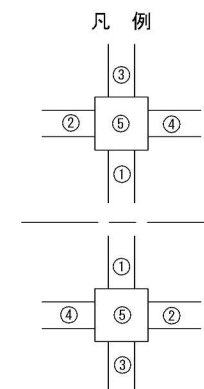


道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	用排水系統図 (1) (参考図)		
縮尺	1:2,500	図面番号	-
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		



道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	用排水系統図 (2) (参考図)		
縮 尺	1:2,500	図面番号	-
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		



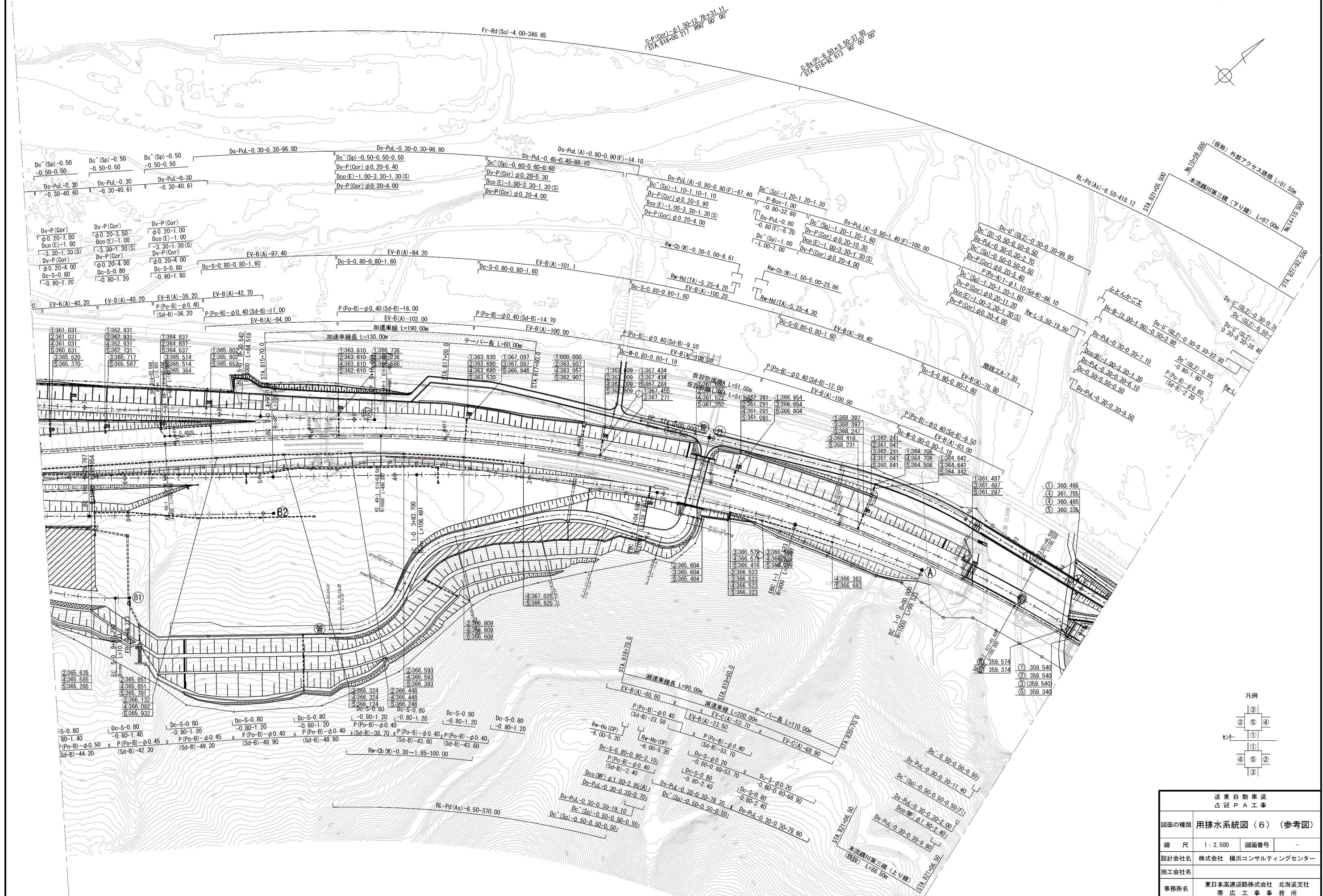


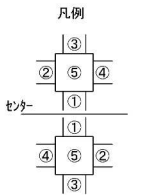
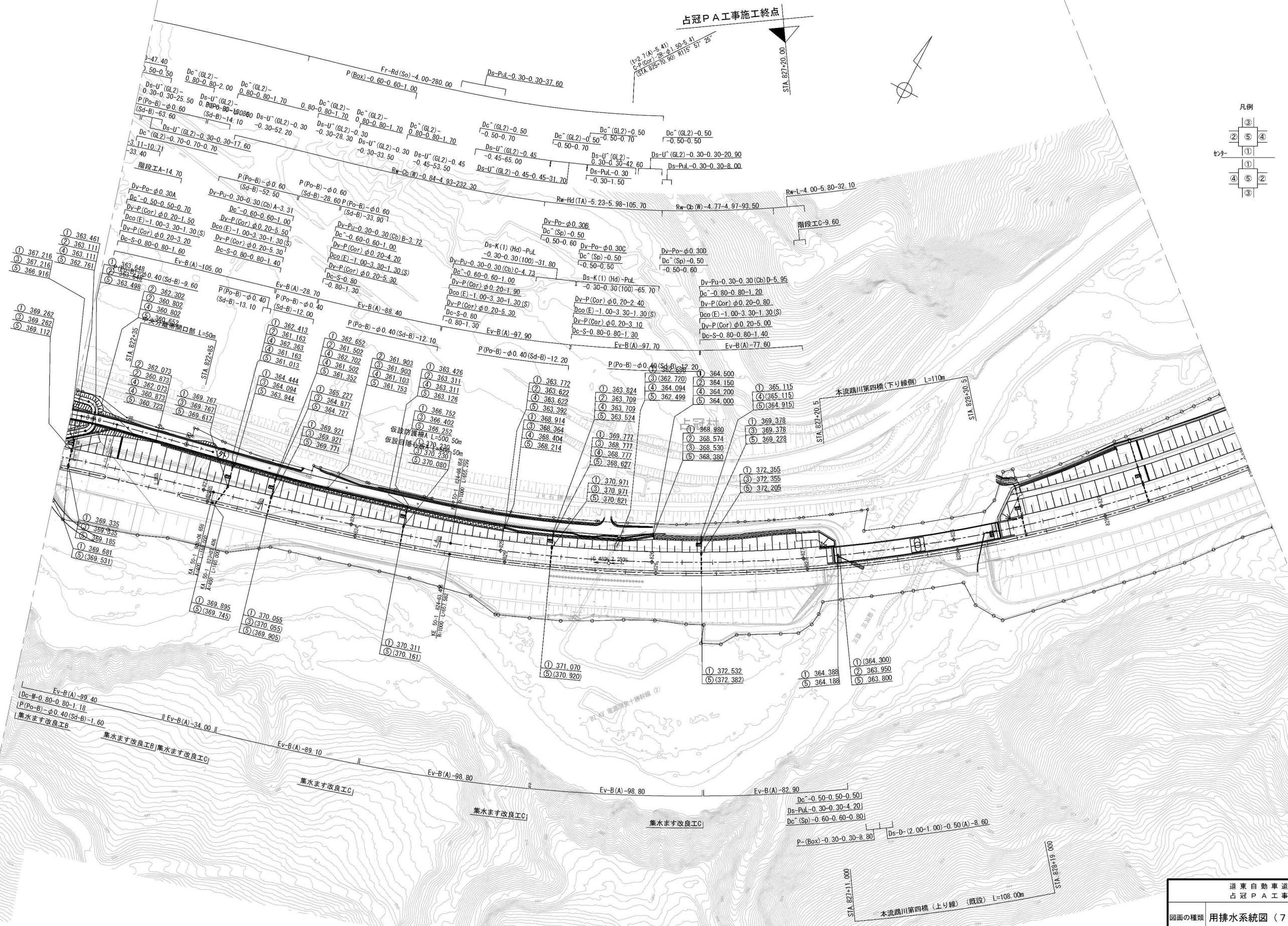
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	用排水系統図 (4) (参考図)		
縮 尺	1:2,500	図面番号	-
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタン		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		



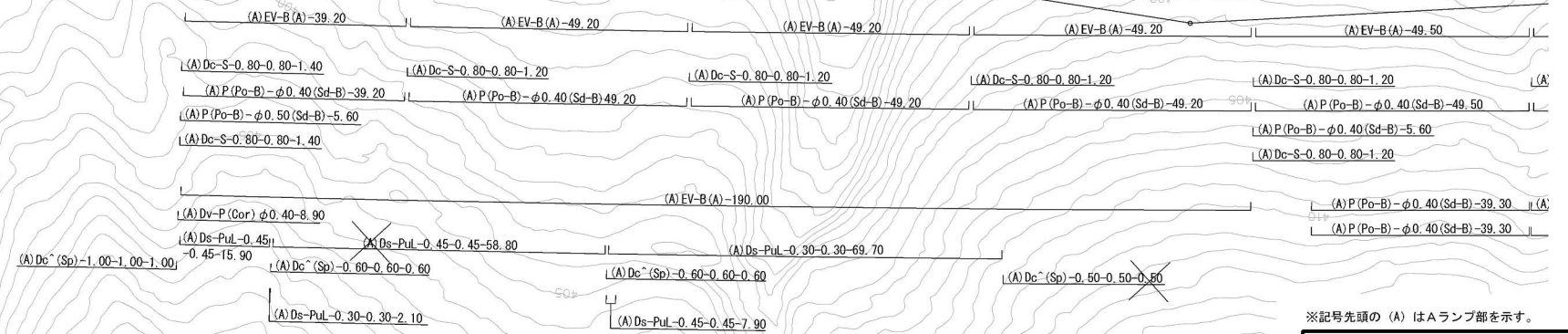
道東自動車道 占冠PA工事	
図面の種類	用排水系統図（５）（参考図）
縮尺	1：2,500 図面番号
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

用排水系統図 (6) (参考図) S=1 : 2,500

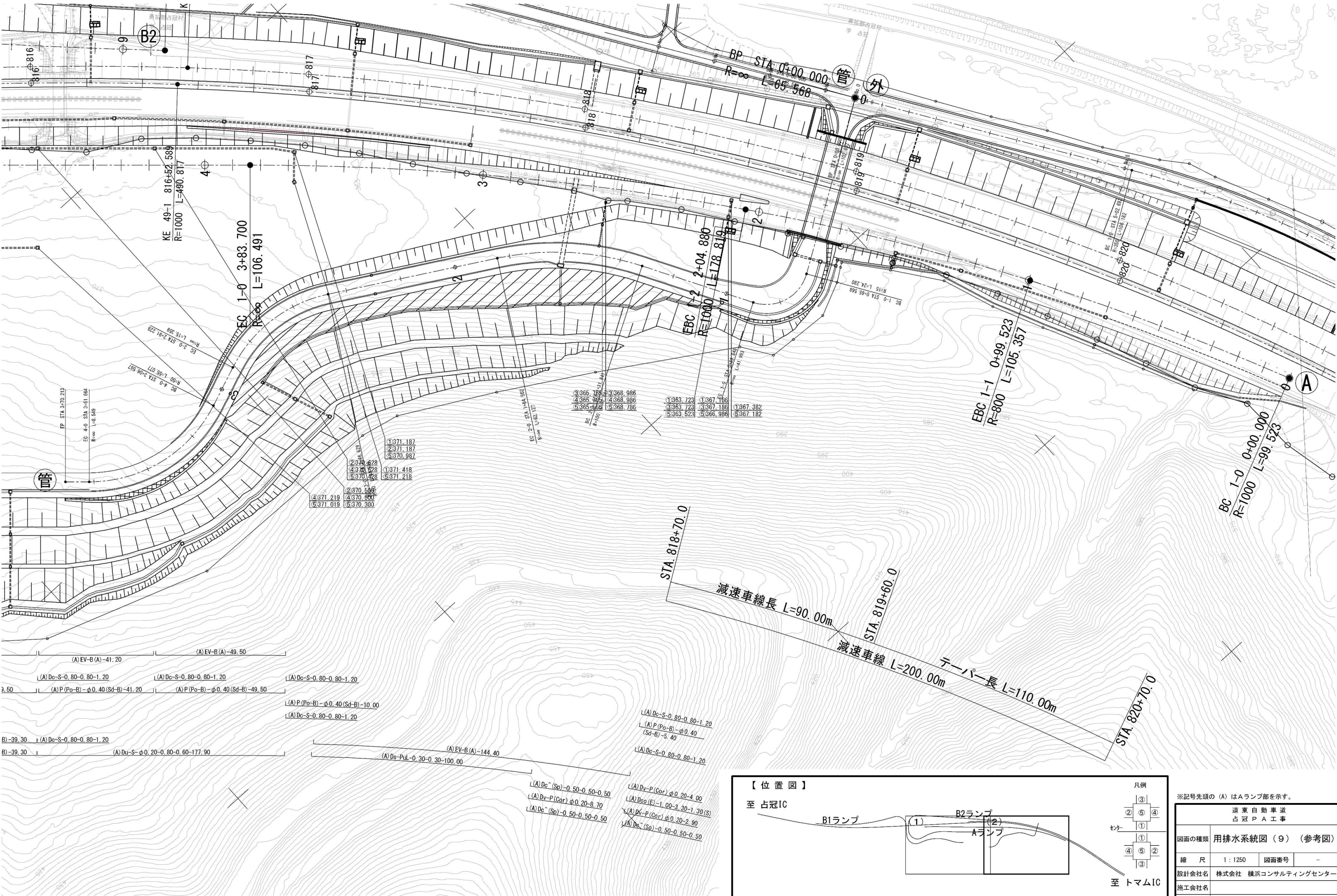




道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	用排水系統図 (7) (参考図)		
縮尺	1:2,500	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

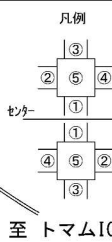


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	用排水系統図（８）（参考図）		
縮 尺	1：1250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 常 広 工 事 事 務 所		北海道支社



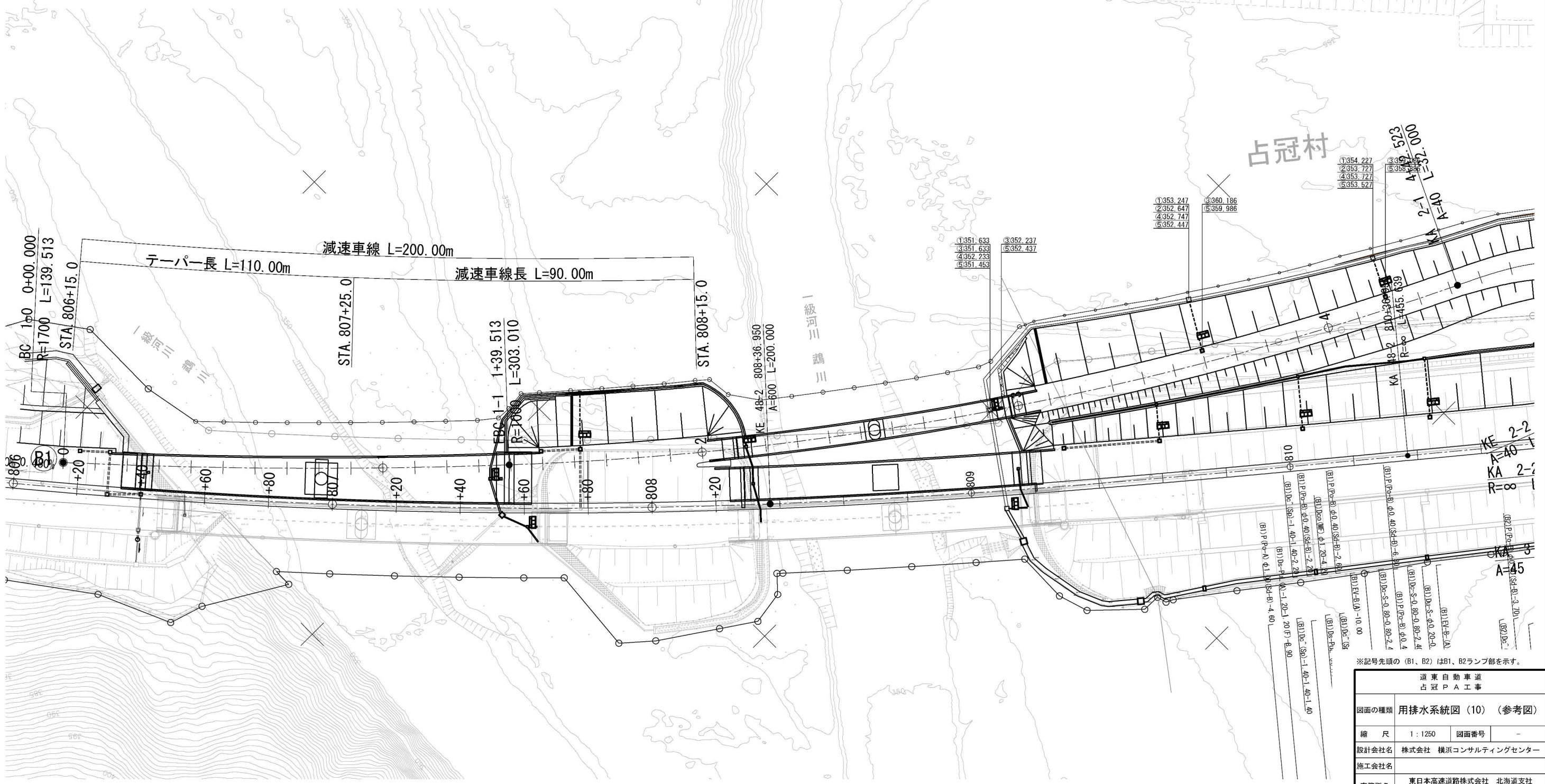
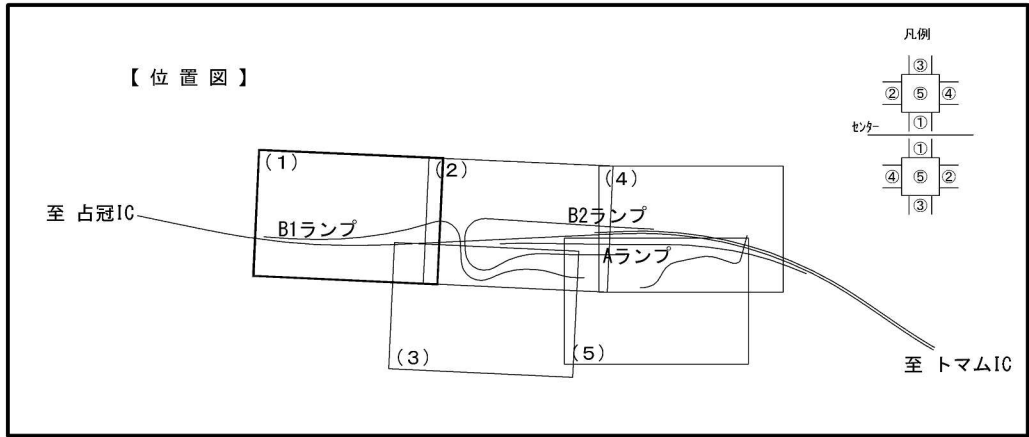
【位置図】

至 占冠IC



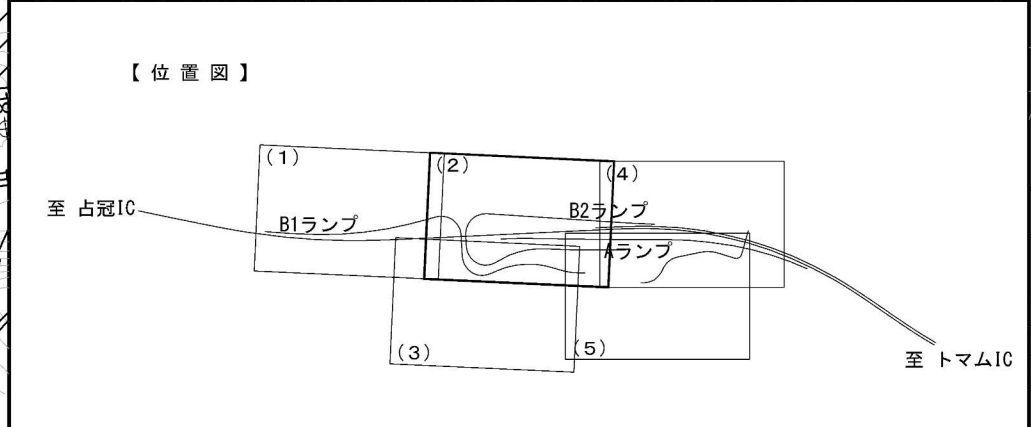
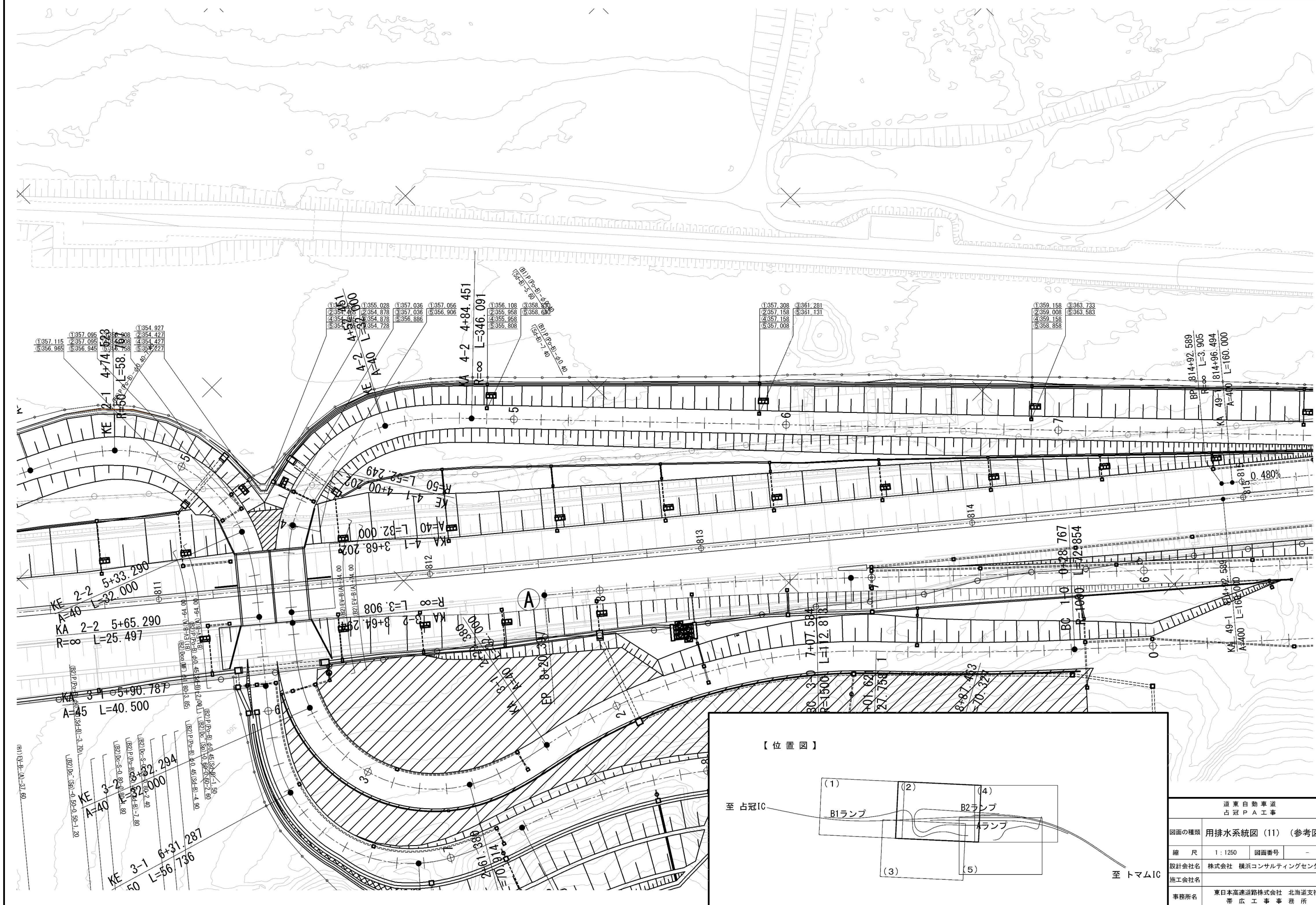
※記号先頭の(A)はAランプ部を示す。

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	用排水系統図（９）（参考図）		
縮 尺	1:1250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯 広 工 事 事 務 所		

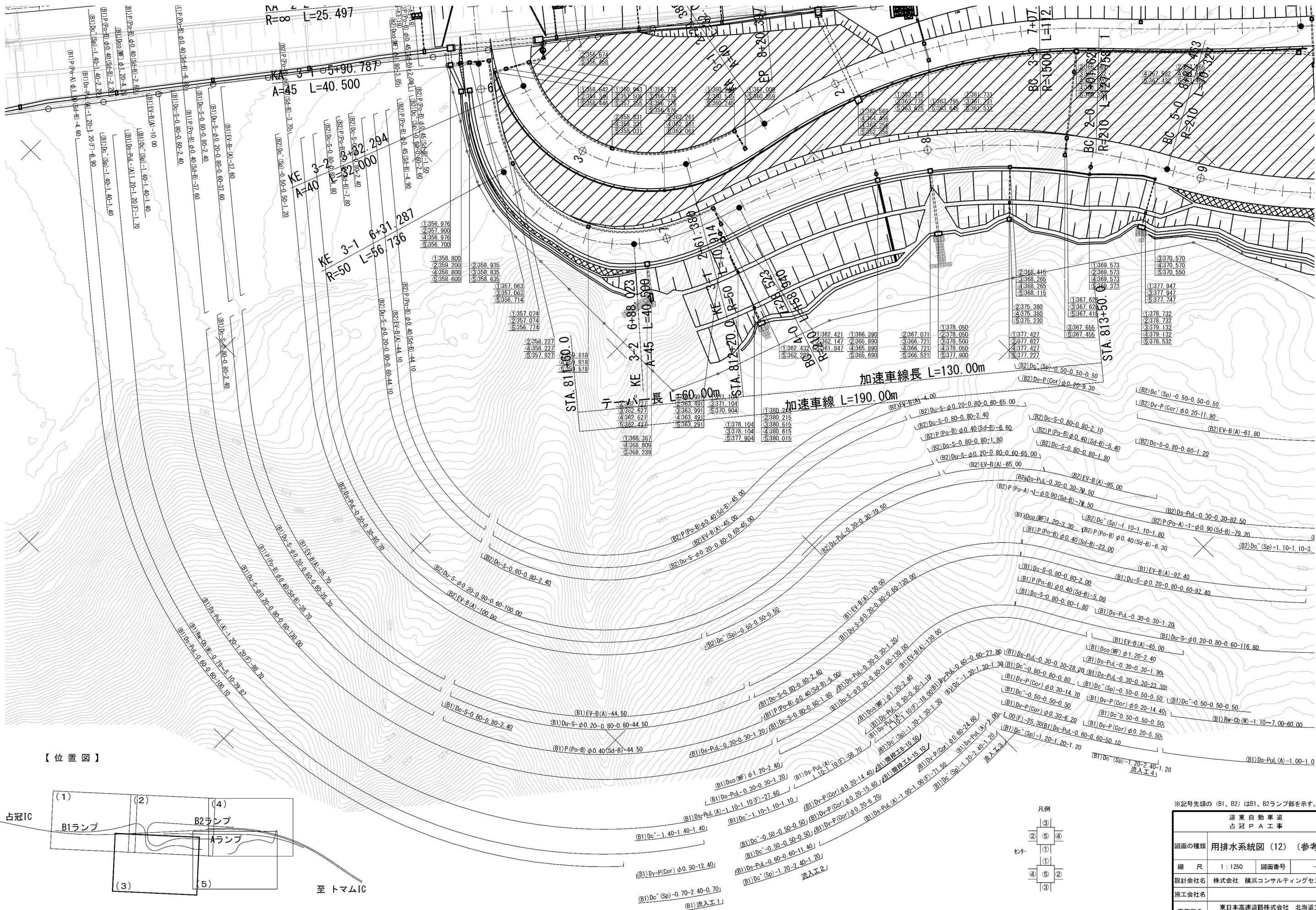


※記号先頭の (B1, B2) はB1, B2ランプ部を示す。

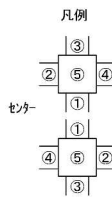
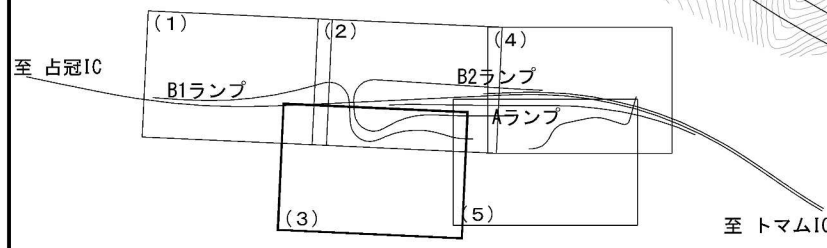
道東自動車道 占冠PA工事	
図面の種類	用排水系統図 (10) (参考図)
縮尺	1:1250 図面番号 -
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所



道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	用排水系統図 (11) (参考図)		
縮 尺	1:1250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

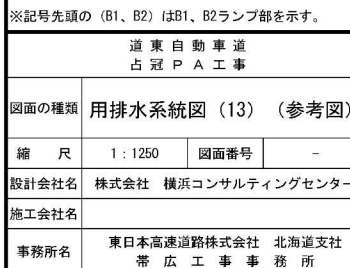


【位置図】

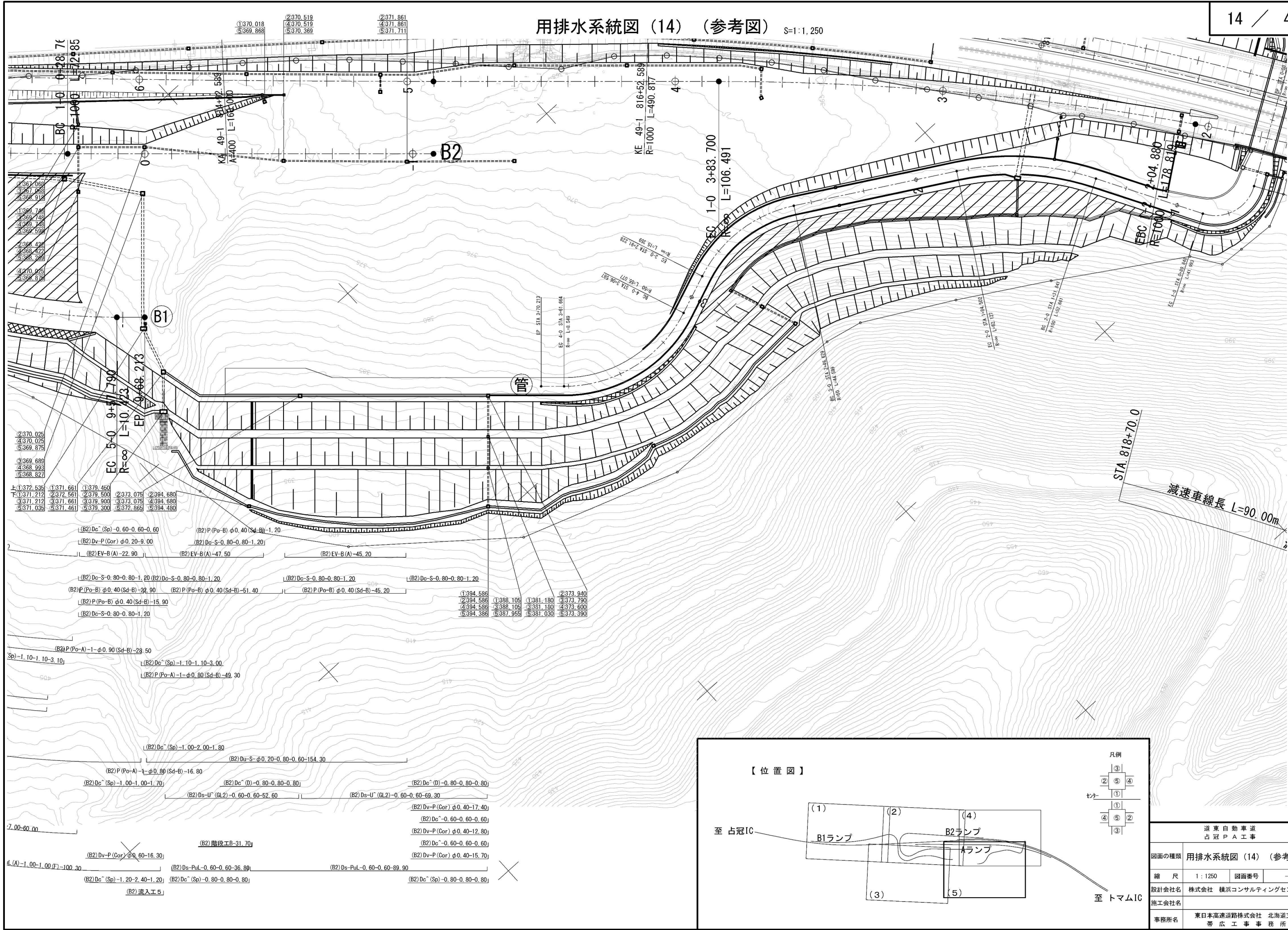


※記号先頭の (B1、B2) はB1、B2ランプ部を示す。

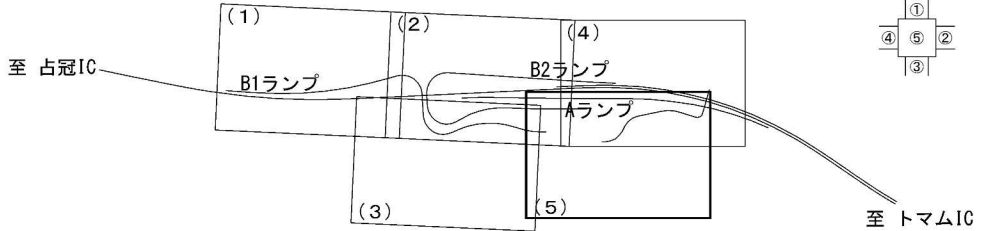
道東自動車道 占冠PA工事	
図面の種類	用排水系統図 (12) (参考図)
縮尺	1:1250 図面番号 -
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所



用排水系統図 (14) (参考図) S=1:1,250



【位置図】



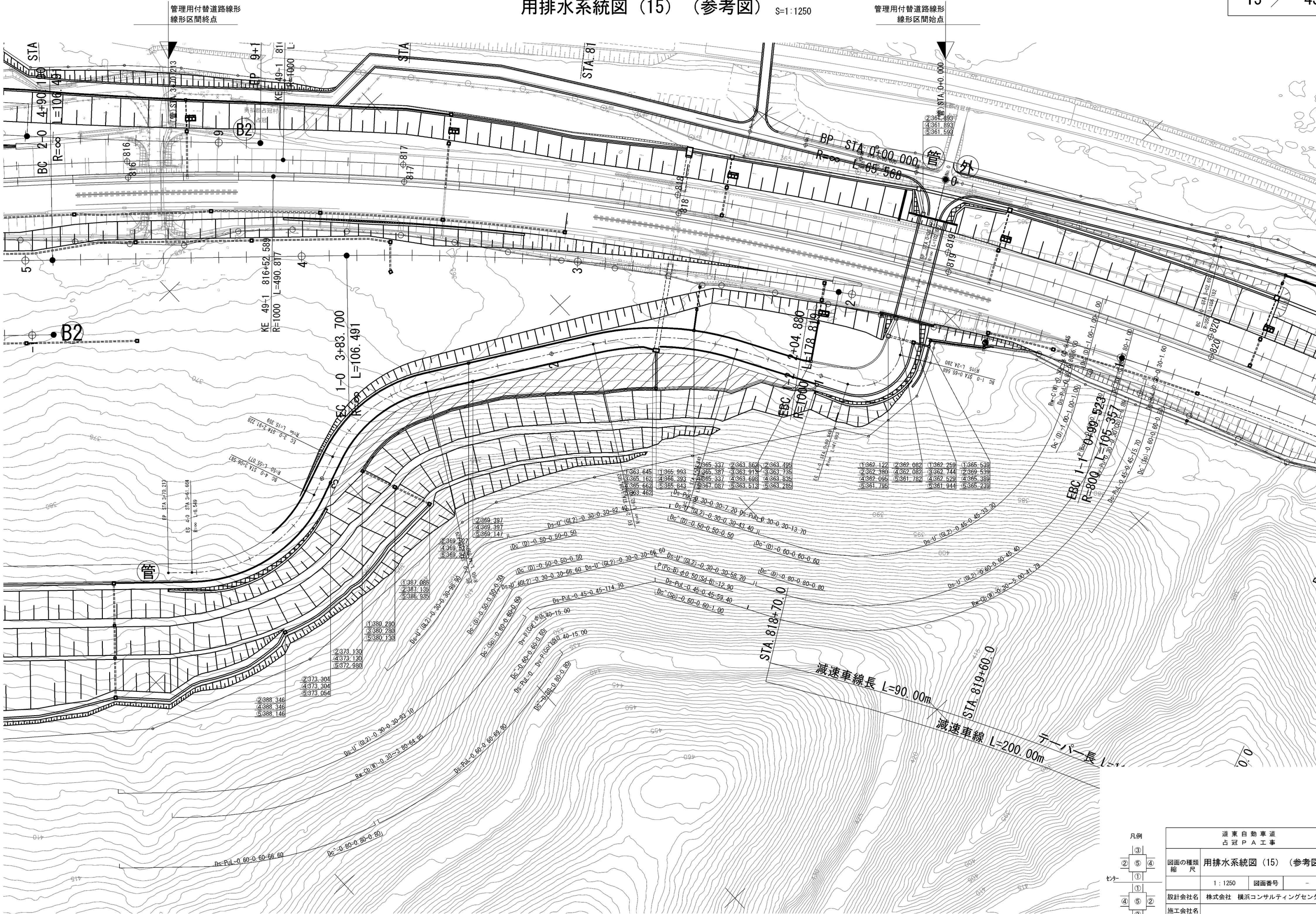
凡例

③
②
⑤
④
①
①
④
⑤
②
③

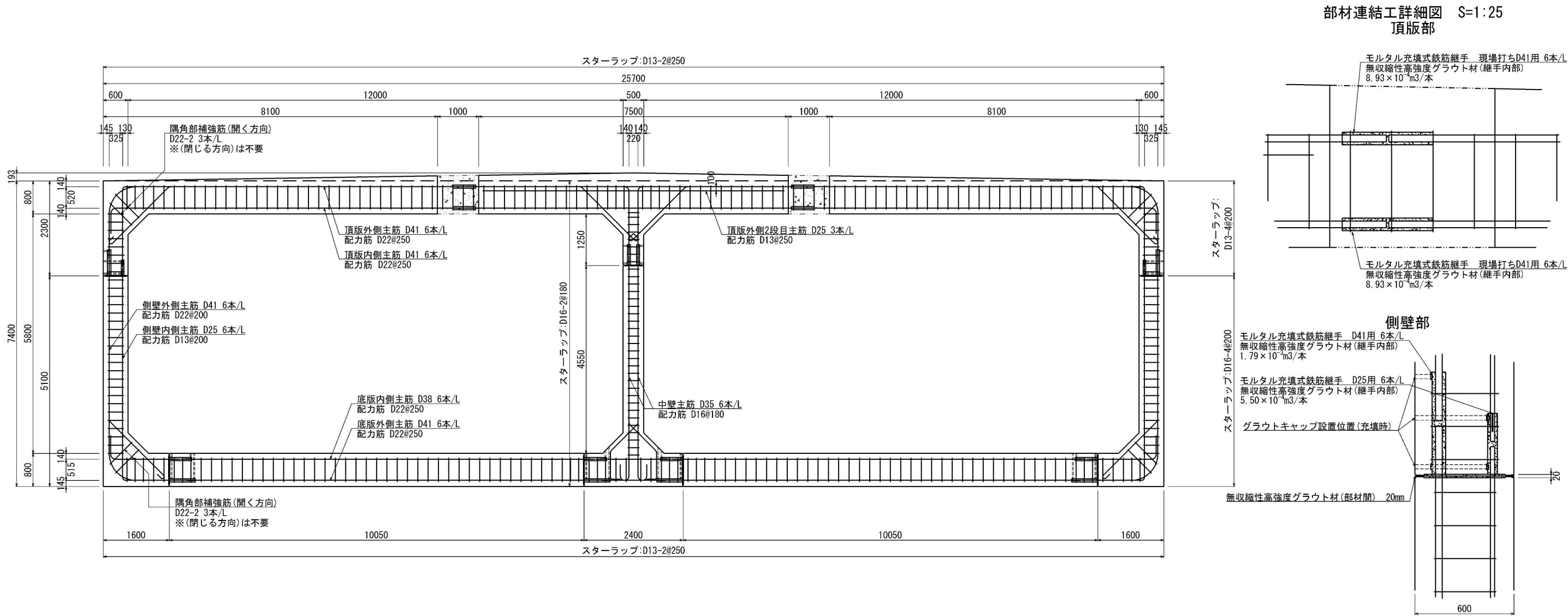
センター

道東自動車道 占冠PA工事	
図面の種類	用排水系統図 (14) (参考図)
縮尺	1:1250 図面番号 -
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

用排水系統図 (15) (参考図) S=1:1250



凡例		道東自動車道 占冠PA工事	
②	③	④	⑤
①	②	③	④
①	②	③	④
④	⑤	②	③
図面の種類 縮尺		用排水系統図 (15) (参考図)	
1:1250		図面番号	
設計会社名		株式会社 横浜コンサルティングセンター	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所	



数 量 表

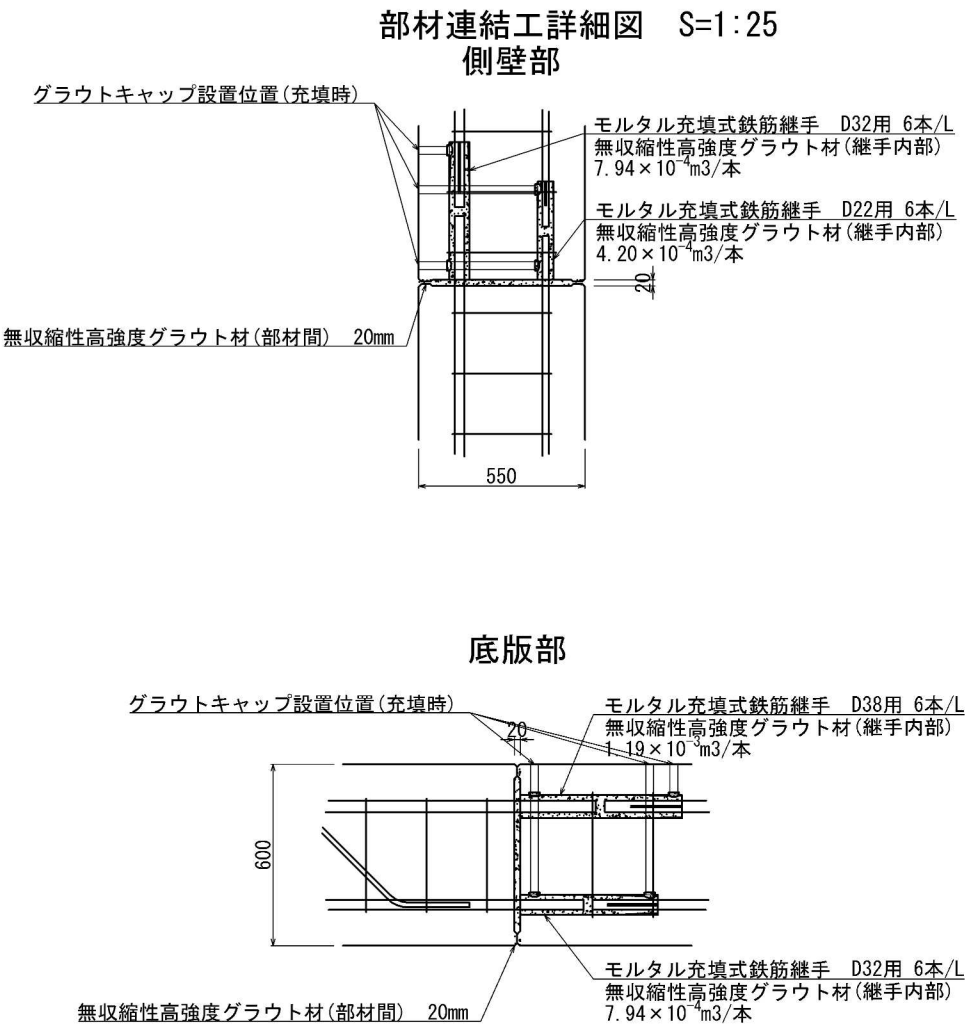
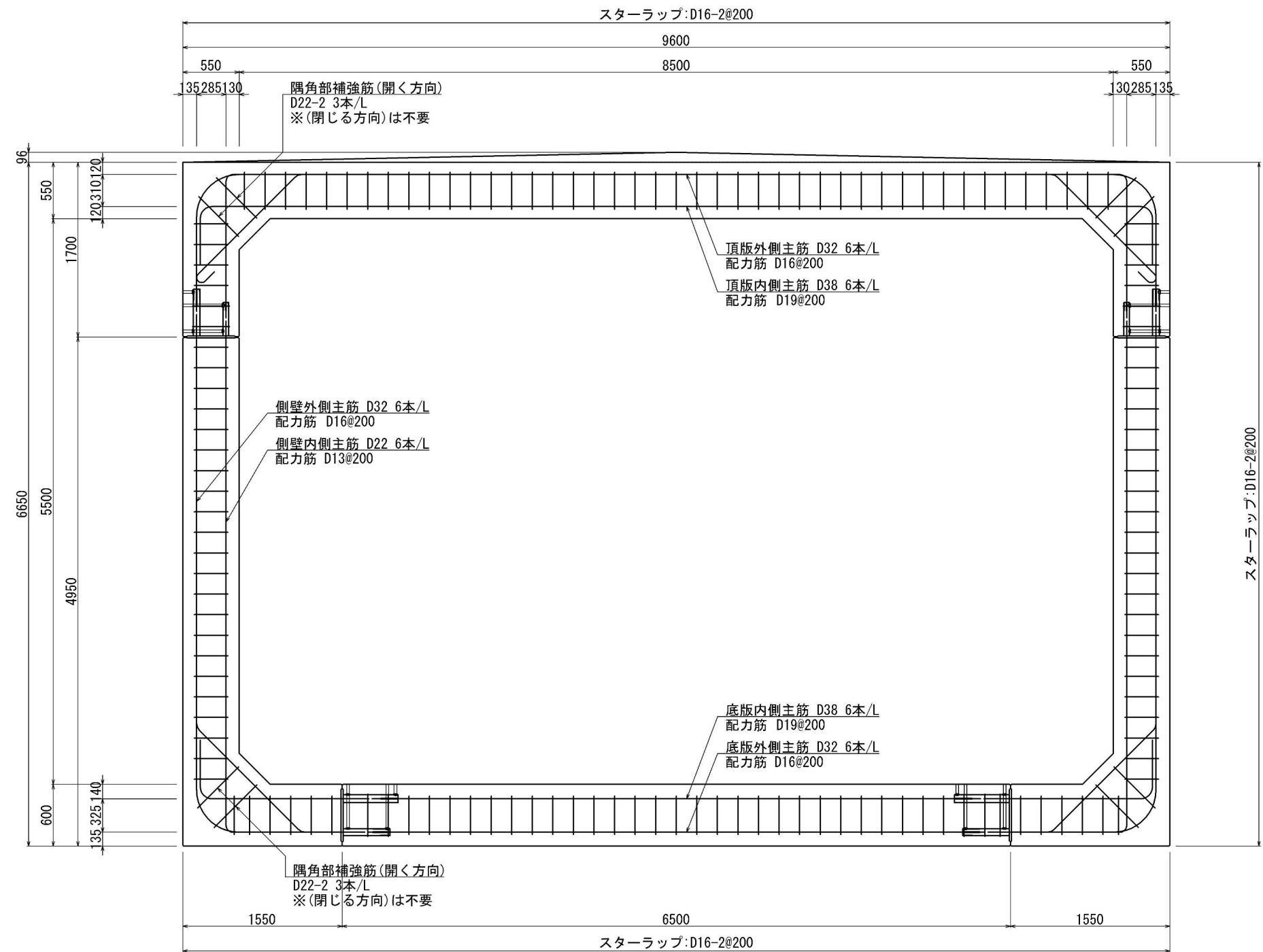
一次施工

種 別	規 格		単 位	数 量				摘 要
				頂版部	側壁中壁部	底版部	合 計	
部材連結工	モルタル充填式鉄筋継手	SA級	D25用	本	156		156	
			D35用	本	156		156	
			D38用	本		312	312	
			D41用	本	156	312	468	
			現場打ちD41用	本	312		312	
	無収縮性高強度グラウト材	σ28≧80N/mm ²	m3	0.28	0.94	1.71	2.9	
	グラウトキャップ	φ26/21 L=35mm	個		936	1248	2184	継手1本につき2個

二次施工

種 別	規 格		単 位	数 量				摘 要
				頂版部	側壁中壁部	底版部	合 計	
部材連結工	モルタル充填式鉄筋継手	SA級	D25用	本	180		180	
			D35用	本	180		180	
			D38用	本		360	360	
			D41用	本	180	360	540	
			現場打ちD41用	本	360		360	
	無収縮性高強度グラウト材	σ28≧80N/mm ²	m3	0.32	1.10	2.01	3.4	
	グラウトキャップ	φ26/21 L=35mm	個		1080	1440	2520	継手1本につき2個

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	STA. 811+42. 088 C-Bx (P) - (12. 00+12. 00) x5. 80 配筋要領図 (参考)		
縮 尺	1:100	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		



数量表

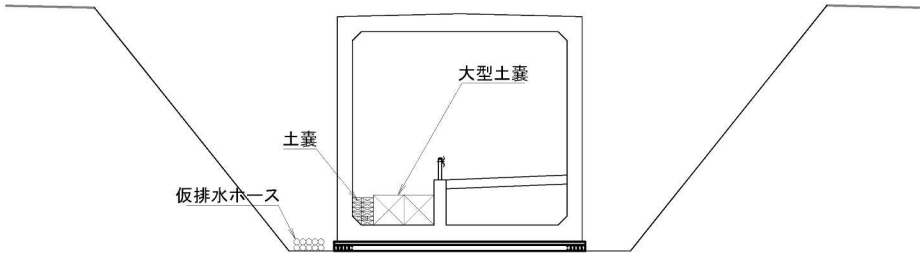
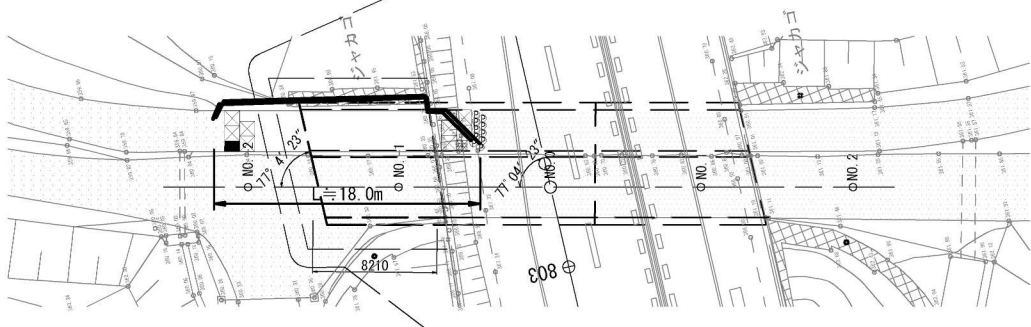
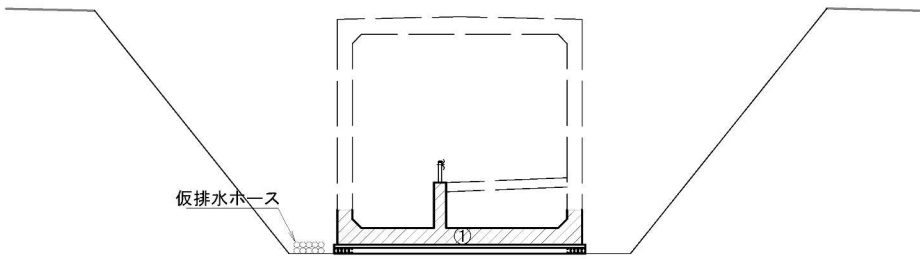
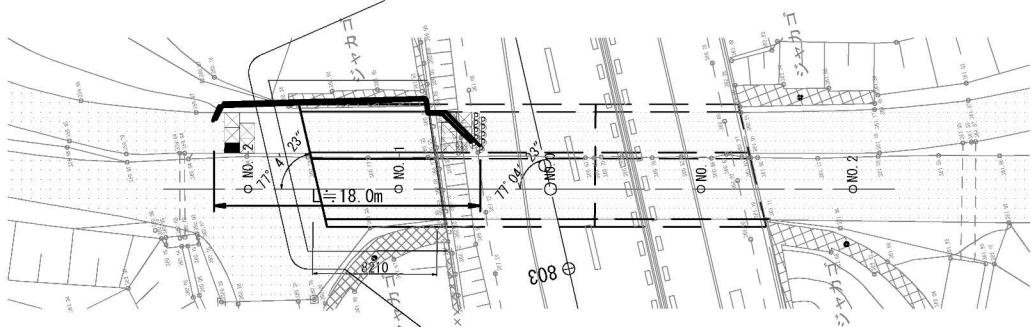
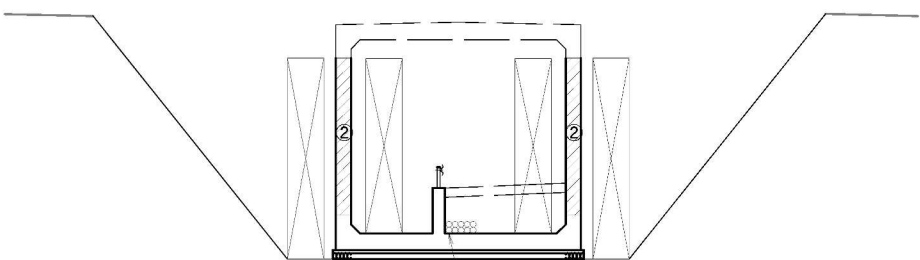
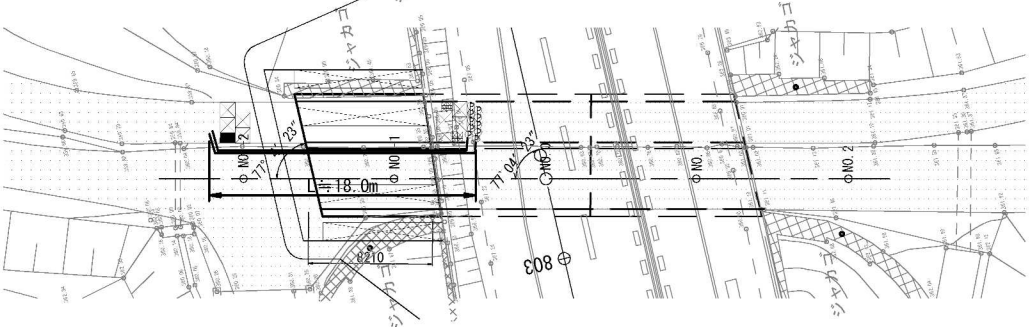
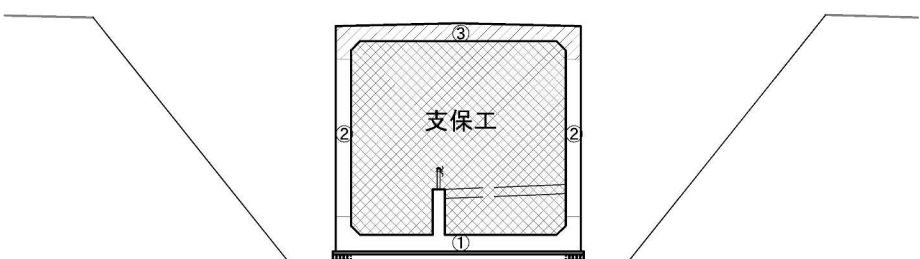
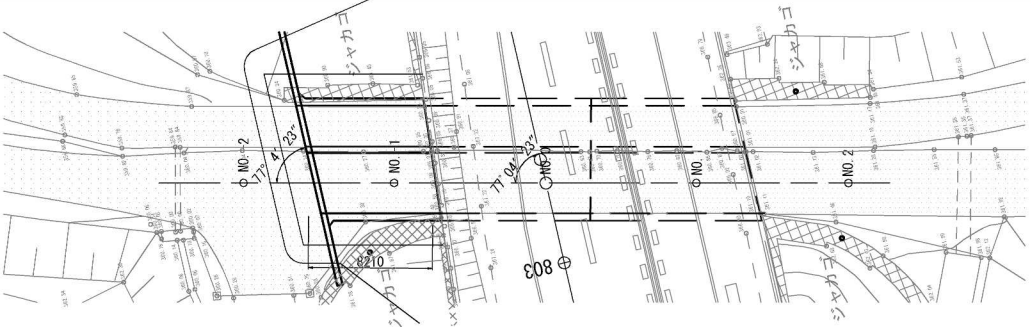
一次施工

種 別	規 格			単 位	数 量			摘 要
					側壁部	底版部	合 計	
部材連結工	モルタル充填式鉄筋継手	SA級	D22用	本	168		168	
			D32用	本	168	168	336	
			D38用	本		168	168	
	無収縮性高強度グラウト材	$\sigma 28 \geq 80\text{N/mm}^2$		m3	0. 54	0. 70	1. 2	
	グラウトキャップ	$\phi 26/21 \text{ L}=35\text{mm}$		個	672	672	1344	継手1本につき2個

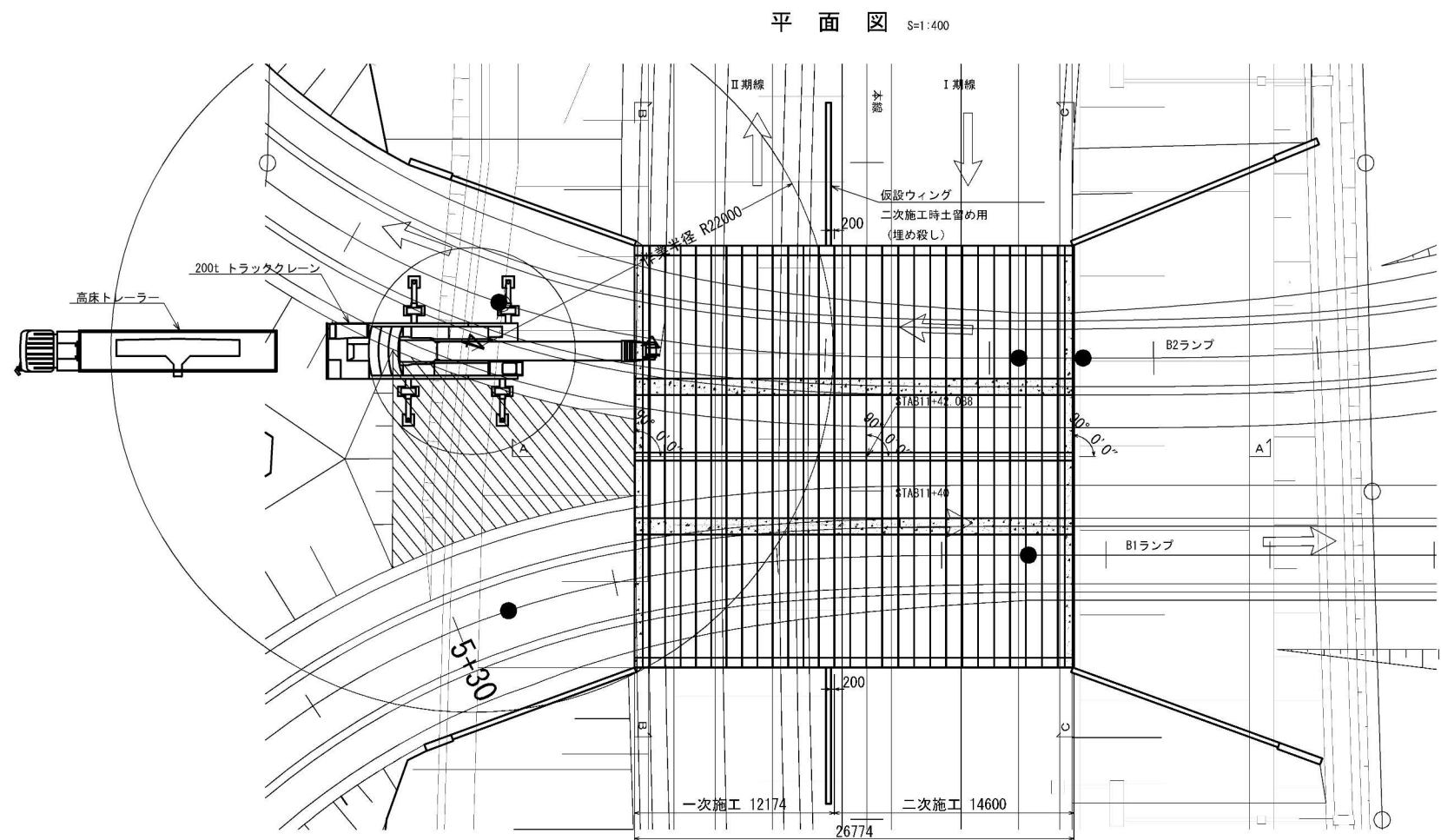
二次施工

種 別	規 格			単 位	数 量			摘 要
					側壁部	底版部	合 計	
部材連結工	モルタル充填式鉄筋継手	SA級	D22用	本	252		252	
			D32用	本	252	252	504	
			D38用	本		252	252	
	無収縮性高強度グラウト材	$\sigma 28 \geq 80\text{N/mm}^2$		m3	0. 80	1. 04	1. 8	
	グラウトキャップ	$\phi 26/21 \text{ L}=35\text{mm}$		個	1008	1008	2016	継手1本につき2個

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	STA. 818+91. 720 C-Bx (P) -8. 50x5. 50 配筋要領図 (参考)		
縮 尺	1:50	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

施工順序	断面図 S=1:250	平面図 S=1:500
STEP1 水路切り回し		
STEP2 底板打設時		
STEP3 側壁打設時		
STEP4 頂版打設時		

道央自動車道 本流西地区道路詳細設計			
図面の種類	STA. 803+7.001 施工計画図（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広管理事務所		

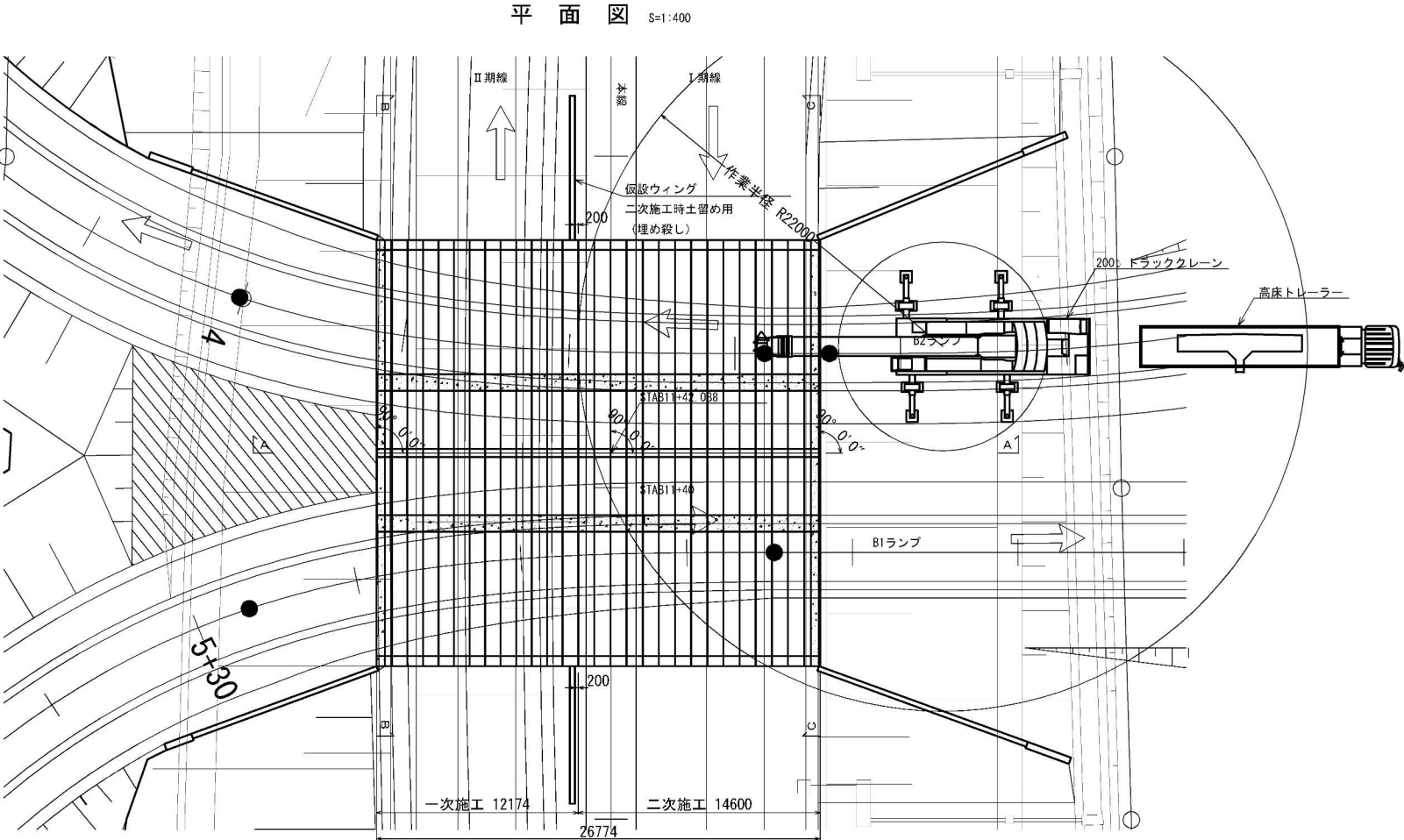


作業半径 (m)	13m ブーム				17.5m ブーム				22m ブーム				31m ブーム				40m ブーム							
	性能区分				性能区分				性能区分				性能区分				性能区分							
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
4.0	200.0	200.0	160.0	160.0																				
4.5	200.0	200.0	155.0	155.0	160.0	160.0	153.5	153.5	160.0	160.0	152.0	152.0												
5.0	185.0	183.0	138.0	138.0	160.0	160.0	136.5	136.5	160.0	160.0	135.0	135.0												
6.0	160.0	149.0	112.0	100.5	155.0	147.5	110.5	99.0	150.0	146.0	109.0	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0								
7.0	139.0	125.0	93.0	72.0	137.0	123.5	91.5	71.0	136.0	122.5	90.0	70.0	100.0	100.0	94.0	74.0	70.0	70.0	70.0	70.0				
8.0	125.0	107.5	76.5	55.5	123.0	106.0	75.5	54.5	121.5	104.5	74.5	53.5	100.0	100.0	78.0	57.0	70.0	70.0	70.0	58.5				
9.0	110.0	87.5	62.0	44.1	108.5	86.5	61.0	43.2	107.0	85.5	60.0	42.3	93.0	89.0	63.0	45.5	70.0	70.0	64.5	47.2				
10.0	97.5	73.5	50.5	35.4	96.0	72.5	49.5	34.3	94.5	71.5	48.5	33.2	85.0	74.5	51.5	36.8	67.5	67.5	53.5	38.8				
11.0					85.5	61.5	41.1	27.1	83.5	60.5	40.1	26.0	77.5	63.5	43.2	29.5	62.1	62.1	44.8	31.3				
12.0					76.5	53.0	34.6	21.8	75.0	52.5	33.6	20.8	71.5	55.3	36.6	24.0	57.4	56.5	38.1	25.7				
14.0					60.0	41.3	25.3	14.5	60.0	40.3	24.3	13.3	61.5	42.9	27.1	16.4	49.7	44.3	28.5	17.9				
16.0									47.9	31.9	18.0	7.9	50.5	34.3	20.6	11.2	43.7	35.6	22.0	12.8				
18.0									39.0	25.7	13.4	3.9	41.5	28.1	16.0	7.2	38.8	29.3	17.3	8.9				
20.0													34.7	23.3	12.4	4.1	34.8	24.5	13.7	5.8				
22.0													29.5	19.5	9.3		30.8	20.6	10.8	3.3				
24.0													25.3	16.3	6.9		26.5	17.5	8.3					
26.0													21.9	13.7	4.8		23.0	14.8	6.2					
28.0													19.1	11.4	3.0		20.1	12.6	4.4					
30.0																	17.7	10.6						
32.0																	15.6	8.8						
34.0																	13.8	7.2						
36.0																	12.2	5.9						
危険角度	—				—				10°				—				5°				42°			
標準フック	200 tフック				160 tフック				160 tフック				160 tフック				70 tフック							
フック重量	2,600kg				2,000kg				2,000kg				2,000kg				1,500kg							
巻掛本数	24				18				18				10				7							

クレーン検討

部材重量 : 19.85t
主巻重量 : 1.50t (70tフック)
補巻重量 : 0.45t (10tフック)
吊具重量 : 0.10t
吊荷重量 : 21.90 (上記合計重量)
定格荷重の80%で揚重可能な機種を選定
21.90t/0.8=27.38t
200tトラッククレーン定格荷重 : 30.8t
作業半径22.0m、40mブーム
30.8>27.38 (30.8/27.38=1.12) ...OK

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	STA. 811+42.088 C-Bx (P) - (12.00+12.00)x5.80 施工計画図(1) クレーン配置参考図(一次施工)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



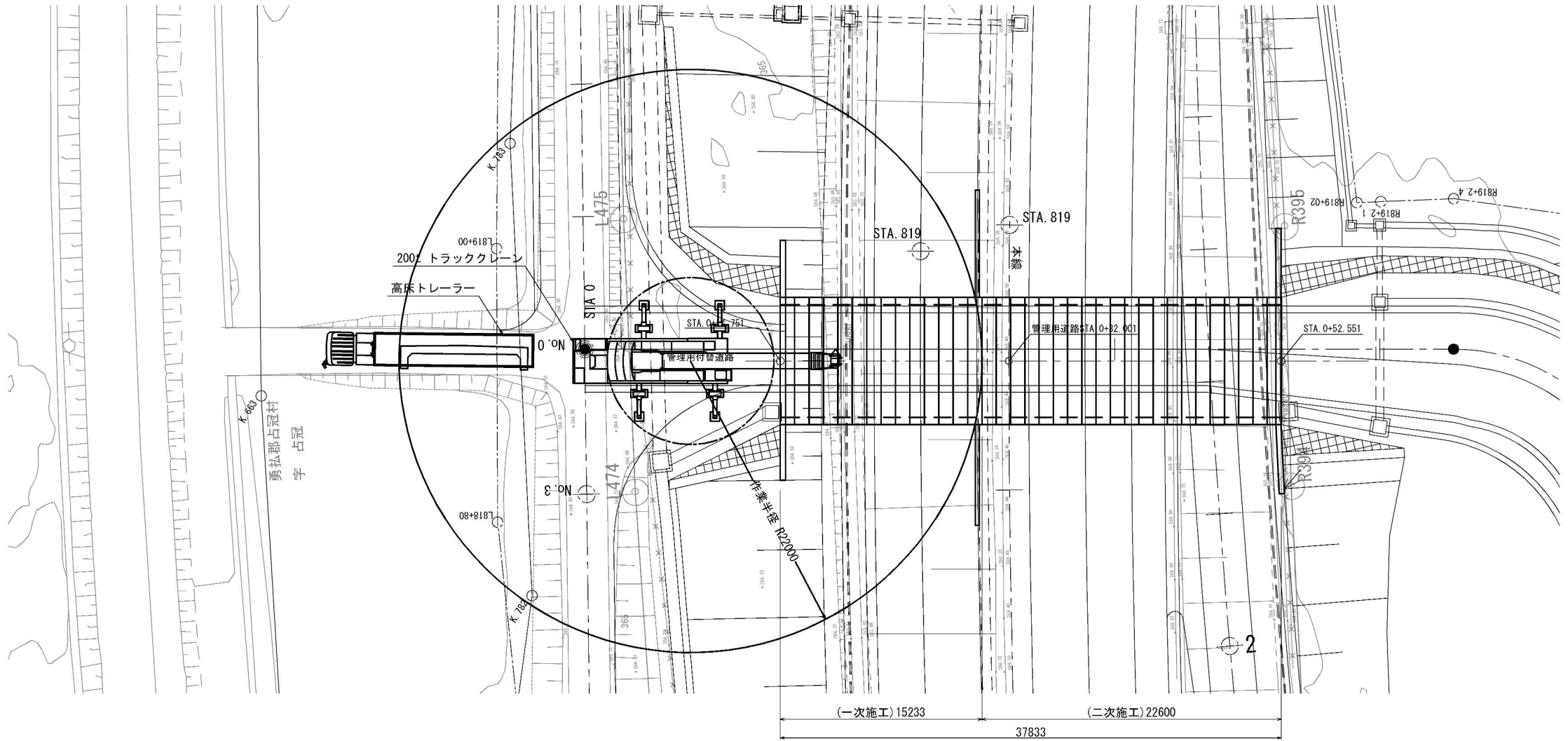
作業半径 (m)	13m ブーム				17.5m ブーム				22m ブーム				31m ブーム				40m ブーム			
	性能区分				性能区分				性能区分				性能区分				性能区分			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
4.0	200.0	200.0	160.0	160.0																
4.5	200.0	200.0	155.0	155.0	160.0	160.0	153.5	153.5	160.0	160.0	152.0	152.0								
5.0	185.0	183.0	138.0	138.0	160.0	160.0	136.5	136.5	160.0	160.0	135.0	135.0								
6.0	160.0	149.0	112.0	100.5	155.0	147.5	110.5	99.0	150.0	146.0	109.0	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
7.0	139.0	125.0	93.0	72.0	137.0	123.5	91.5	71.0	136.0	122.5	90.0	70.0	100.0	100.0	94.0	74.0	70.0	70.0	70.0	70.0
8.0	125.0	107.5	76.5	55.5	123.0	106.0	75.5	54.5	121.5	104.5	74.5	53.5	100.0	100.0	78.0	57.0	70.0	70.0	70.0	58.5
9.0	110.0	87.5	62.0	44.1	108.5	86.5	61.0	43.2	107.0	85.5	60.0	42.3	93.0	89.0	63.0	45.5	70.0	70.0	64.5	47.2
10.0	97.5	73.5	50.5	35.4	96.0	72.5	49.5	34.3	94.5	71.5	48.5	33.2	85.0	74.5	51.5	36.8	67.5	67.5	53.5	38.8
11.0					85.5	61.5	41.1	27.1	83.5	60.5	40.1	26.0	77.5	63.5	43.2	29.5	62.1	62.1	44.8	31.3
12.0					76.5	53.0	34.6	21.8	75.0	52.5	33.6	20.8	71.5	55.3	36.6	24.0	57.4	56.5	38.1	25.7
14.0					60.0	41.3	25.3	14.5	60.0	40.3	24.3	13.3	61.5	42.9	27.1	16.4	49.7	44.3	28.5	17.9
16.0																				
18.0																				
20.0																				
22.0																				
24.0																				
26.0																				
28.0																				
30.0																				
32.0																				
34.0																				
36.0																				
危険角度	—				—				10°				—				20°			
標準フック	200 tフック				160 tフック				160 tフック				160 tフック				70 tフック			
フック重量	2,600kg				2,000kg				2,000kg				2,000kg				1,500kg			
巻掛本数	24				18				18				10				7			

クレーン検討

部材重量 : 20.62t
主巻重量 : 1.50t (70tフック)
補巻重量 : 0.45t (10tフック)
吊具重量 : 0.10t
吊荷重量 : 22.67 (上記合計重量)
定格荷重の80%で揚重可能な機種を選定
22.67t/0.8=28.34t
200tトラッククレーン定格荷重: 30.8t
作業半径22.0m、40mブーム
30.8>28.34 (30.8/28.34=1.09) ...OK

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	STA. 811+42.088 C-Bx (P) - (12.00+12.00)x5.80 施工計画図(2) クレーン配置参考図(二次施工)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

平面図 S=1/400



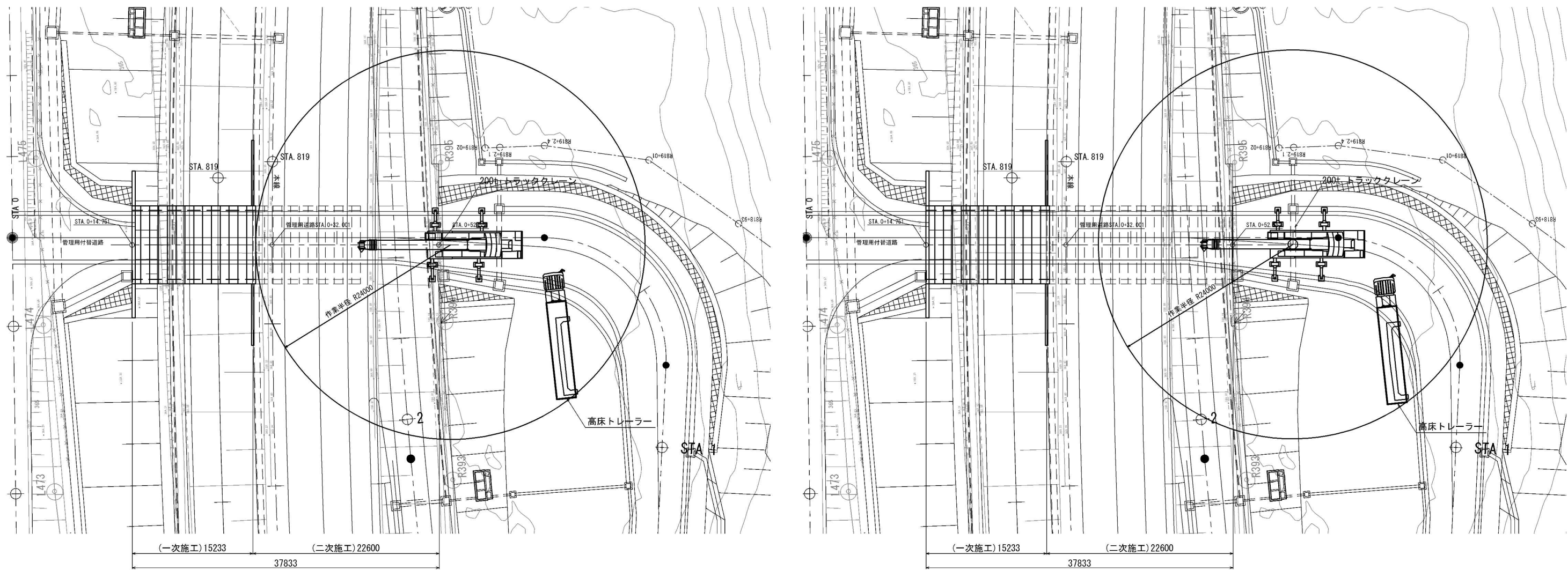
作業半径 (m)	13mブーム 性能区分				17.5mブーム 性能区分				22mブーム 性能区分				31mブーム 性能区分				40mブーム 性能区分			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
4.0	200.0	200.0	160.0	160.0																
4.5	200.0	200.0	155.0	155.0	160.0	160.0	153.5	153.5	160.0	160.0	152.0	152.0								
5.0	185.0	183.0	138.0	138.0	160.0	160.0	136.5	136.5	160.0	160.0	135.0	135.0								
6.0	160.0	149.0	112.0	100.5	155.0	147.5	110.5	99.0	150.0	146.0	109.0	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
7.0	139.0	125.0	93.0	72.0	137.0	123.5	91.5	71.0	136.0	122.5	90.0	70.0	100.0	100.0	94.0	74.0	70.0	70.0	70.0	70.0
8.0	125.0	107.5	76.5	55.5	123.0	106.0	75.5	54.5	121.5	104.5	74.5	53.5	100.0	100.0	78.0	57.0	70.0	70.0	70.0	58.5
9.0	110.0	87.5	62.0	44.1	108.5	86.5	61.0	43.2	107.0	85.5	60.0	42.3	93.0	89.0	63.0	45.5	70.0	70.0	64.5	47.2
10.0	97.5	73.5	50.5	35.4	96.0	72.5	49.5	34.3	94.5	71.5	48.5	33.2	85.0	74.5	51.5	36.8	67.5	67.5	53.5	38.8
11.0					85.5	61.5	41.1	27.1	83.5	60.5	40.1	26.0	77.5	63.5	43.2	29.5	62.1	62.1	44.8	31.3
12.0					76.5	53.0	34.6	21.8	75.0	52.5	33.6	20.8	71.5	55.3	36.6	24.0	57.4	56.5	38.1	25.7
14.0					60.0	41.3	25.3	14.5	60.0	40.3	24.3	13.3	61.5	42.9	27.1	16.4	49.7	44.3	28.5	17.9
16.0																				
18.0									39.0	25.7	13.4	3.9	41.5	28.1	16.0	7.2	38.8	29.3	17.3	8.9
20.0													34.7	23.3	12.4	4.1	34.8	24.5	13.7	5.8
22.0													29.5	19.5	9.3		30.8	20.6	10.8	3.3
24.0													25.3	16.3	6.9		26.5	17.5	8.3	
26.0													21.9	13.7	4.8		23.0	14.8	6.2	
28.0													19.1	11.4	3.0		20.1	12.6	4.4	
30.0																	17.7	10.6		
32.0																	15.6	8.8		
34.0																	13.8	7.2		
36.0																	12.2	5.9		
危険角度	—				—				10°				—				5°			
標準フック	200 tフック				160 tフック				160 tフック				160 tフック				70 tフック			
フック重量	2,600kg				2,000kg				2,000kg				2,000kg				1,500kg			
巻掛本数	24				18				18				10				7			

クレーン検討

部材重量 : 19.21t
主巻重量 : 1.50t(70tフック)
補巻重量 : 0.45t(10tフック)
吊具重量 : 0.10t
吊荷重量 : 21.26(上記合計重量)
定格荷重の80%で揚重可能な機種を選定
21.26t/0.8=26.58t
200tトラッククレーン定格荷重 : 30.8t
作業半径22.0m, 40mブーム
30.8>26.58 (30.8/26.58=1.16) ...OK

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	STA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50 施工計画図(1) クレーン配置参考図(一次施工)		
縮 尺	図 示	図面番号	—
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

平面図 S=1:500



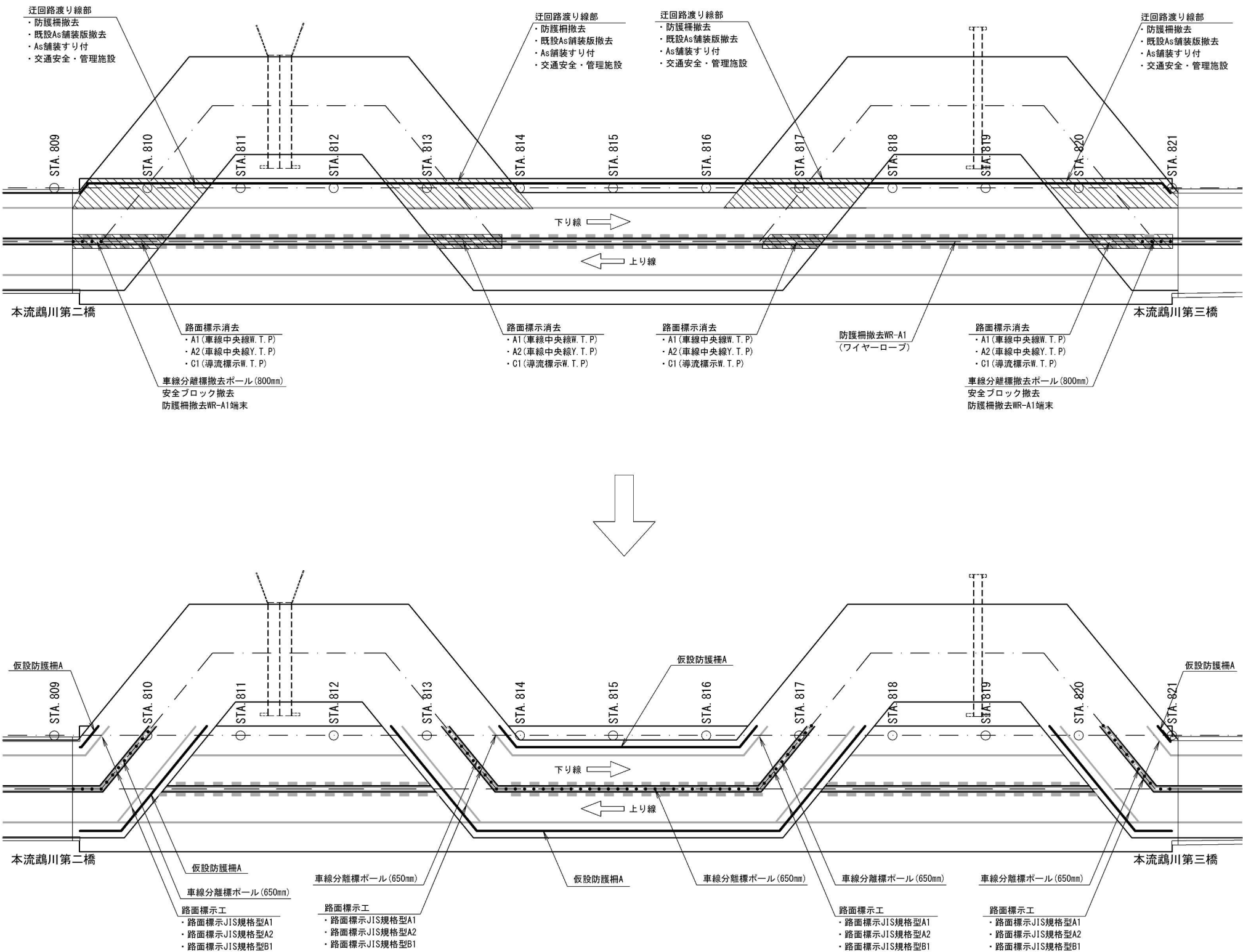
作業半径 (m)	13m ブーム				17.5m ブーム				22m ブーム				31m ブーム				40m ブーム			
	性能区分				性能区分				性能区分				性能区分				性能区分			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
4.0	200.0	200.0	160.0	160.0																
4.5	200.0	200.0	155.0	155.0	160.0	160.0	153.5	153.5	160.0	160.0	152.0	152.0								
5.0	185.0	183.0	138.0	138.0	160.0	160.0	136.5	136.5	160.0	160.0	135.0	135.0								
6.0	160.0	149.0	112.0	100.5	155.0	147.5	110.5	99.0	150.0	146.0	109.0	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0				
7.0	139.0	125.0	93.0	72.0	137.0	123.5	91.5	71.0	136.0	122.5	90.0	70.0	100.0	100.0	94.0	74.0	70.0	70.0	70.0	70.0
8.0	125.0	107.5	76.5	55.5	123.0	106.0	75.5	54.5	121.5	104.5	74.5	53.5	100.0	100.0	78.0	57.0	70.0	70.0	70.0	58.5
9.0	110.0	87.5	62.0	44.1	108.5	86.5	61.0	43.2	107.0	85.5	60.0	42.3	93.0	89.0	63.0	45.5	70.0	70.0	64.5	47.2
10.0	97.5	73.5	50.5	35.4	96.0	72.5	49.5	34.3	94.5	71.5	48.5	33.2	85.0	74.5	51.5	36.8	67.5	67.5	53.5	38.8
11.0					85.5	61.5	41.1	27.1	83.5	60.5	40.1	26.0	77.5	63.5	43.2	29.5	62.1	62.1	44.8	31.3
12.0					76.5	53.0	34.6	21.8	75.0	52.5	33.6	20.8	71.5	55.3	36.6	24.0	57.4	56.5	38.1	25.7
14.0					60.0	41.3	25.3	14.5	60.0	40.3	24.3	13.3	61.5	42.9	27.1	16.4	49.7	44.3	28.5	17.9
16.0									47.9	31.9	18.0	7.9	50.5	34.3	20.6	11.2	43.7	35.6	22.0	12.8
18.0													41.5	28.1	16.0	7.2	38.8	29.3	17.3	8.9
20.0									39.0	25.7	13.4	3.9								
22.0													34.7	23.3	12.4	4.1	34.8	24.5	13.7	5.8
24.0													29.5	19.5	9.3		30.8	20.6	10.8	3.3
26.0													25.3	16.3	6.9		26.5	17.5	8.3	
28.0													21.9	13.7	4.8		23.0	14.8	6.2	
30.0													19.1	11.4	3.0		20.1	12.6	4.4	
32.0																	17.7	10.6		
34.0																	15.6	8.8		
36.0																	13.8	7.2		
危険角度	—				—				10°				—				—			
標準フック	200 tフック				160 tフック				160 tフック				160 tフック				70 tフック			
フック重量	2,600kg				2,000kg				2,000kg				2,000kg				1,500kg			
巻掛本数	24				18				18				10				7			

クレーン検討

部材重量 : 19.00t
主巻重量 : 1.50t(70tフック)
補巻重量 : 0.45t(10tフック)
吊具重量 : 0.10t
吊荷重量 : 21.05(上記合計重量)
定格荷重の80%で揚重可能な機種を選定
21.05t/0.8=26.32t
200tトラッククレーン定格荷重: 30.8t
作業半径24.0m, 40mブーム
26.5>26.32 (26.5/26.32=1.01) ...OK

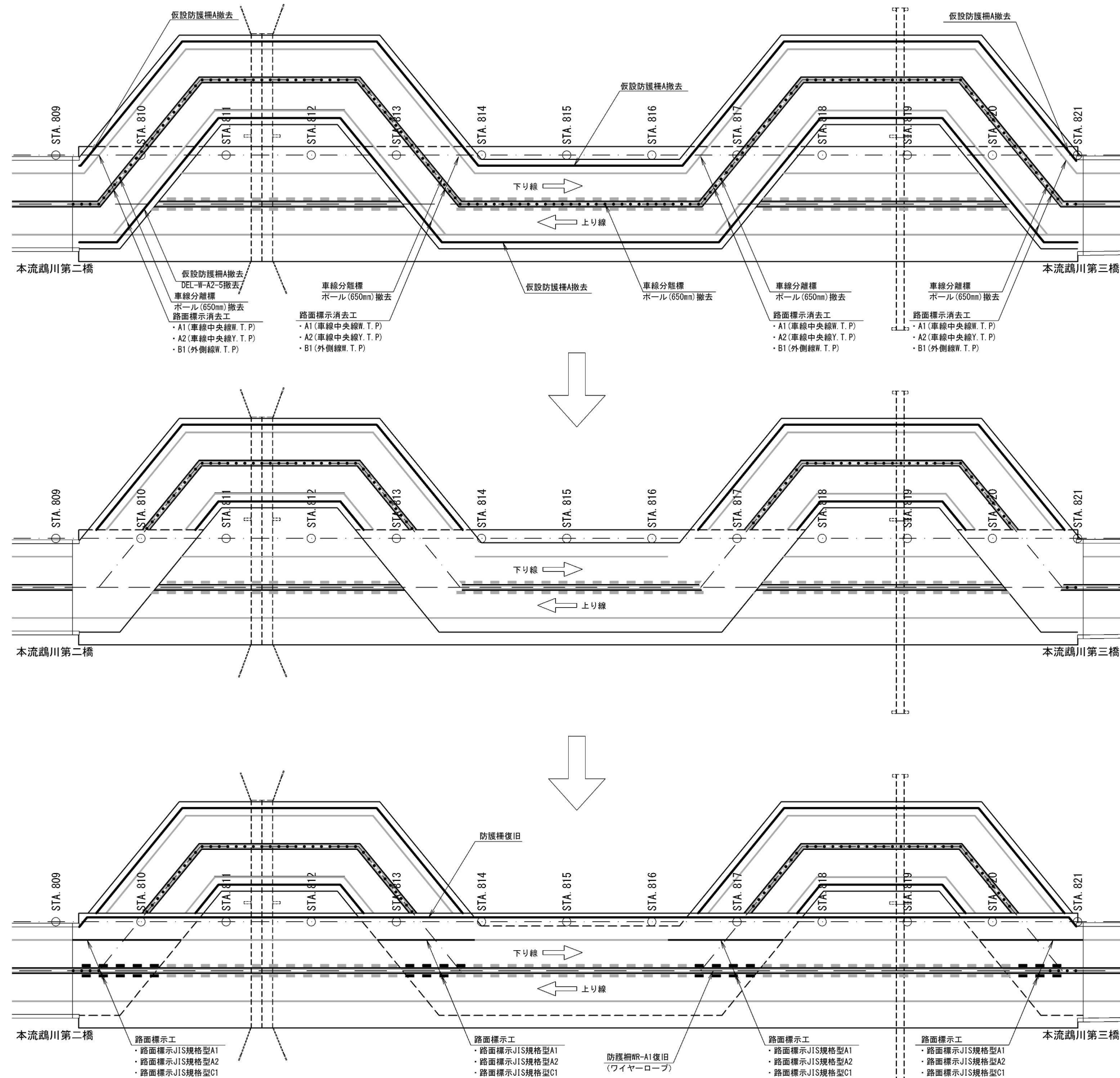
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	STA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50 施工計画図(2) クレーン配置参考図(二次施工)		
縮尺	図示	図面番号	—
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

夜間通行止時 概略施工図（１）
（迂回路設置時）



道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	夜間通行止時 概略施工図（１） （迂回路設置時）		
縮 尺	-	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

夜間通行止時 概略施工図（２）
（迂回路撤去時）

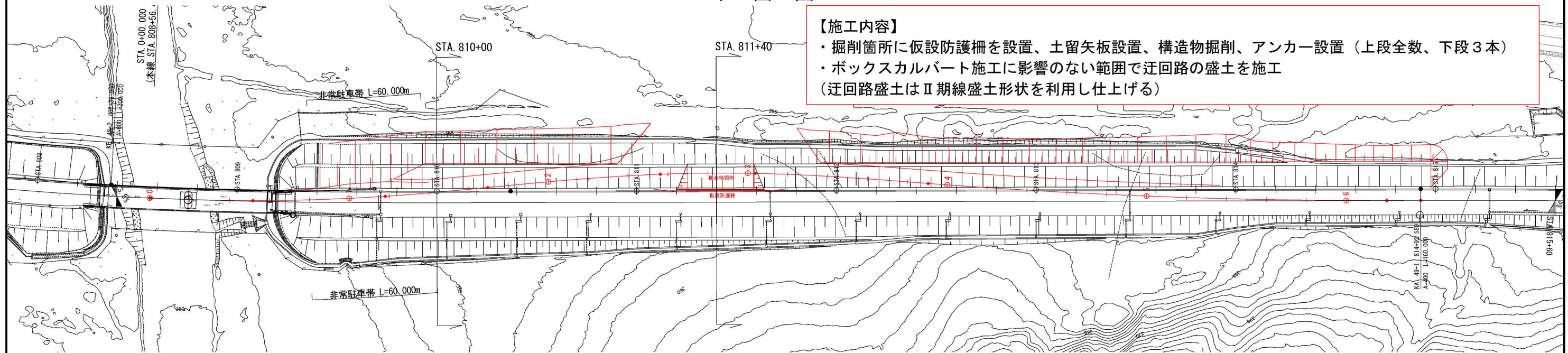


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事		
図面の種類	夜間通行止時 概略施工図（２） （迂回路撤去時）	
縮 尺	－	図面番号 ー
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 帯 広 工 事 所	北海道支 務 所

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（１）

【ステップ１（起点側）】

平面図 縮尺1:2,000



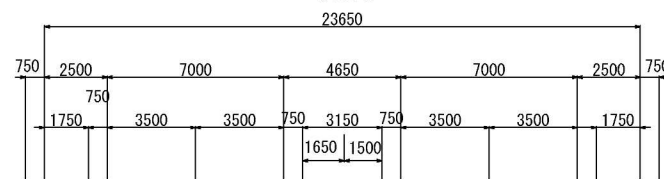
【施工内容】

- ・掘削箇所に仮設防護柵を設置、土留矢板設置、構造物掘削、アンカー設置（上段全数、下段３本）
- ・ボックスカルバート施工に影響のない範囲で迂回路の盛土を施工（迂回路盛土はⅡ期線盛土形状を利用し仕上げる）

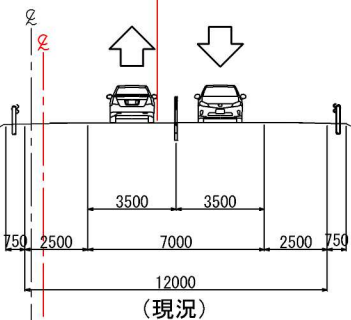
横断図 縮尺1:300

STA. 810+00.000

（完成）



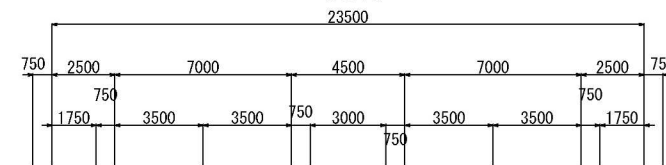
迂回路



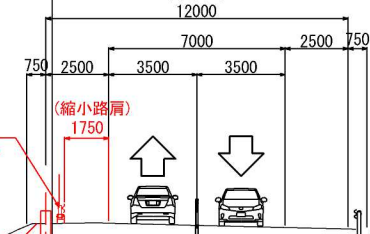
迂回路 上部路床（t=30cm）
迂回路 下部路床（t=70cm）※
※Ⅱ期線盛土に利用する

STA. 811+40.000

（完成）



（現況）



仮設防護柵A
仮設目隠し板A

構造物掘削

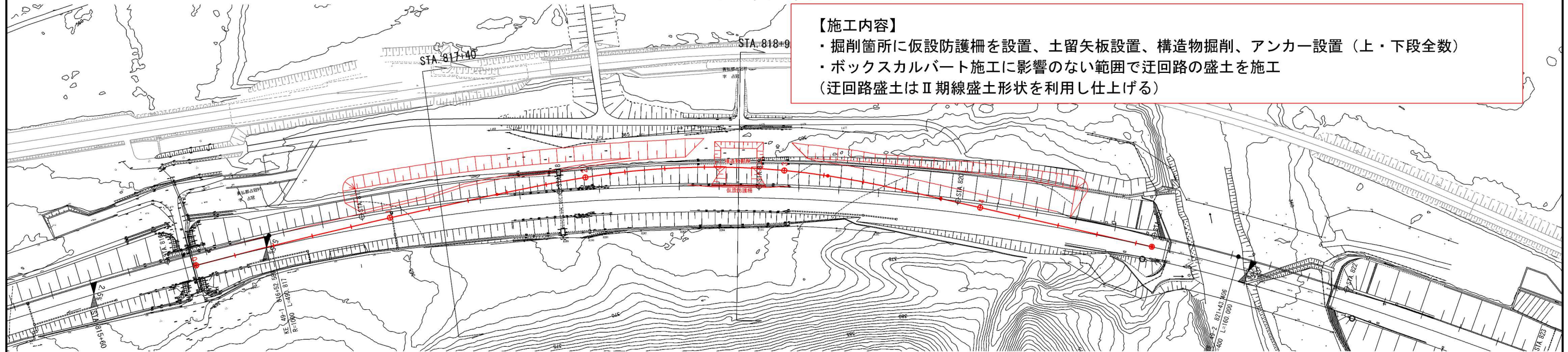
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（１）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（2）

【ステップ1（終点側）】

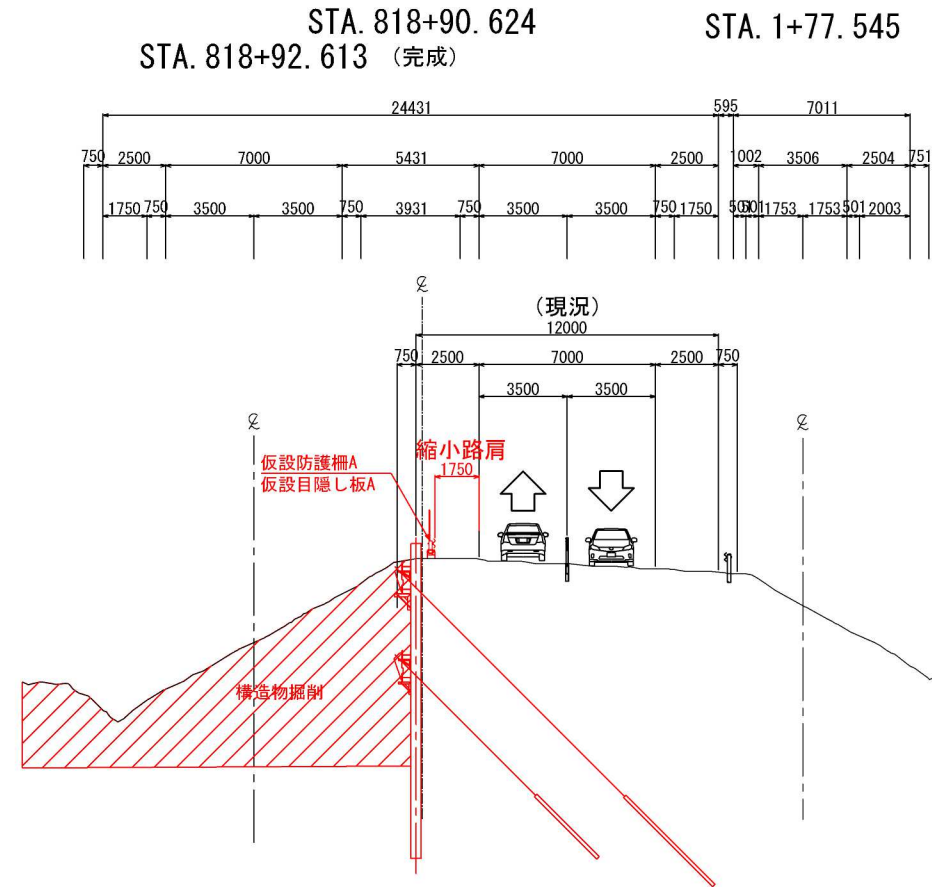
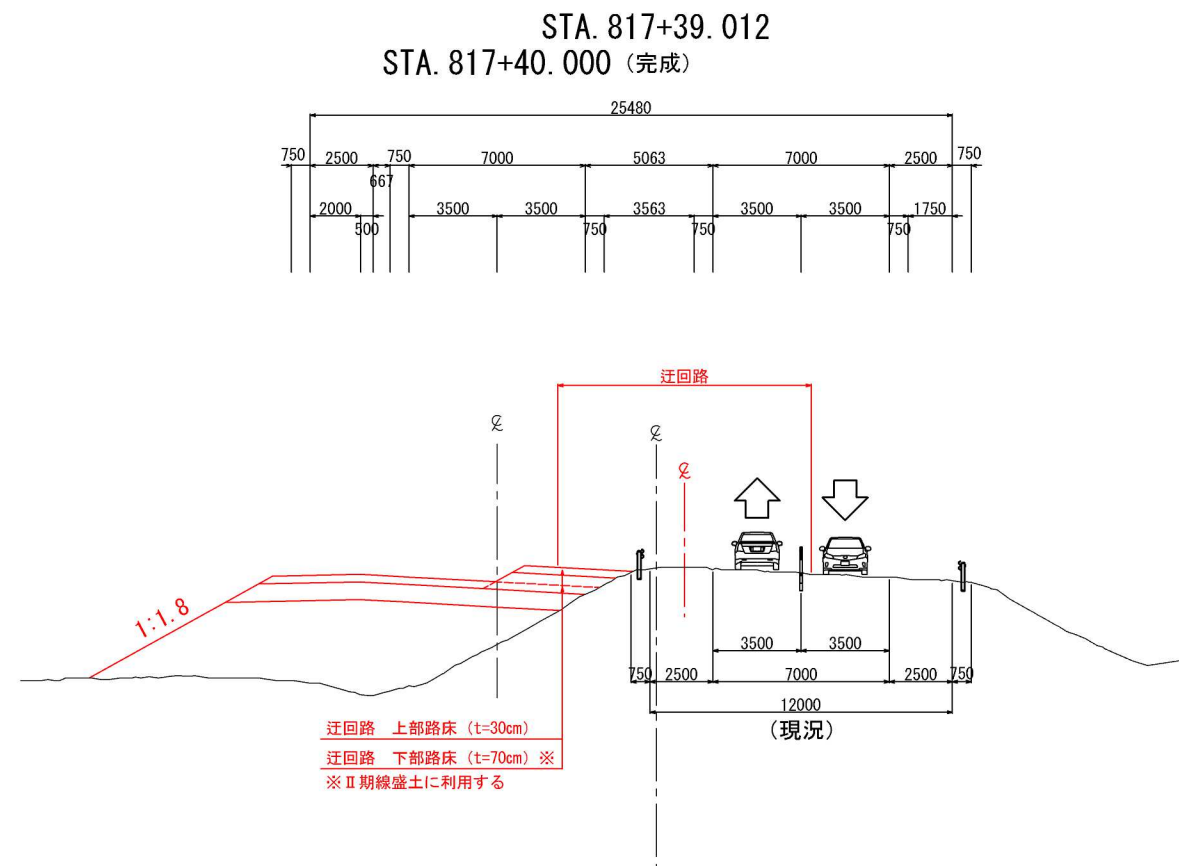
平面図 縮尺1:2,000



【施工内容】

- ・掘削箇所に仮設防護柵を設置、土留矢板設置、構造物掘削、アンカー設置（上・下段全数）
- ・ボックスカルバート施工に影響のない範囲で迂回路の盛土を施工（迂回路盛土はⅡ期線盛土形状を利用し仕上げる）

横断図 縮尺1:300



赤：施工対象
青：施工完了

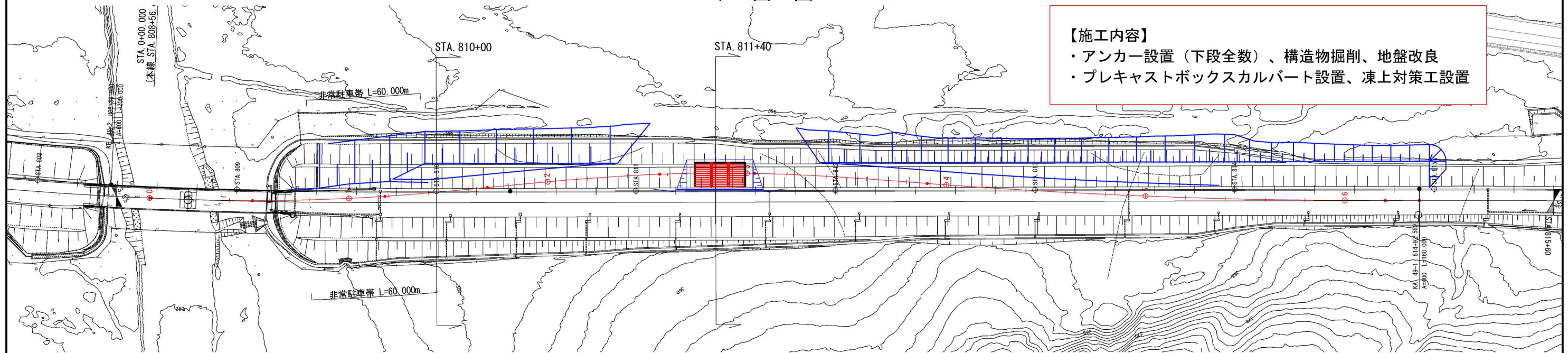
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（2）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（3）

【ステップ2-1（起点側）】

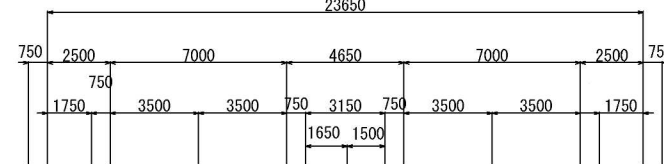
27 / 43

平面図 縮尺1:2,000

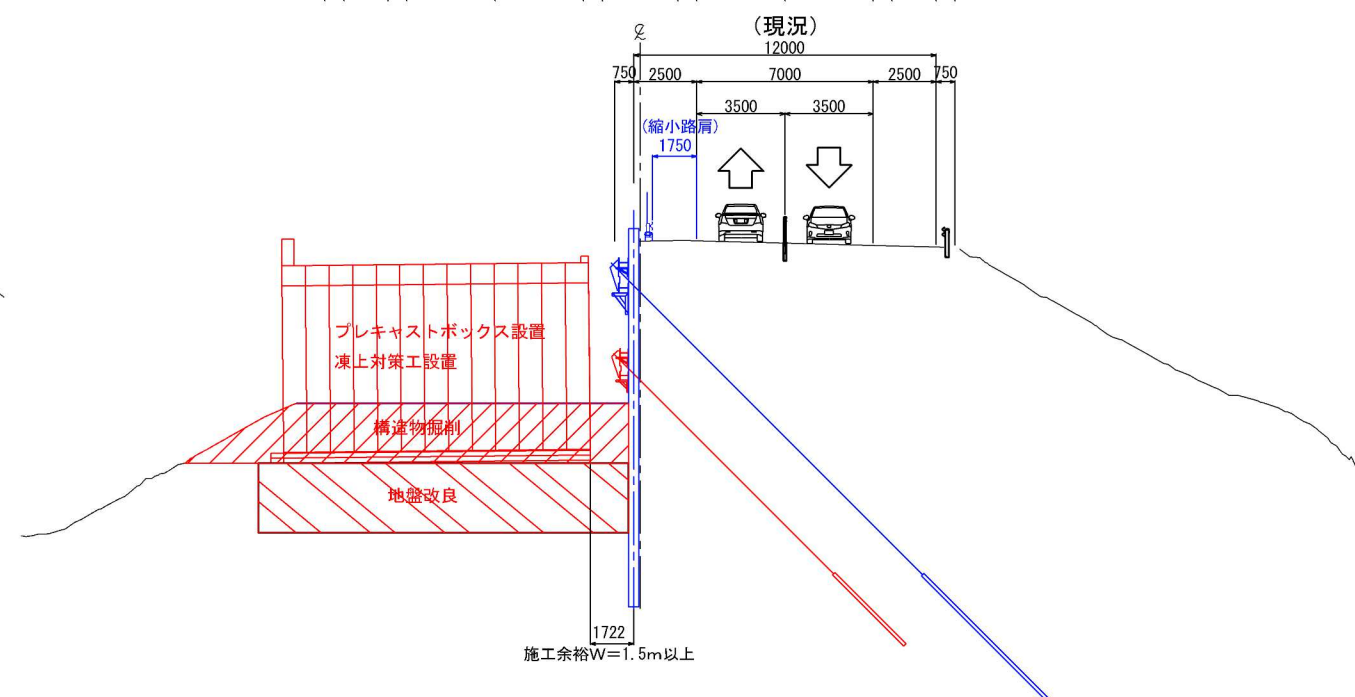
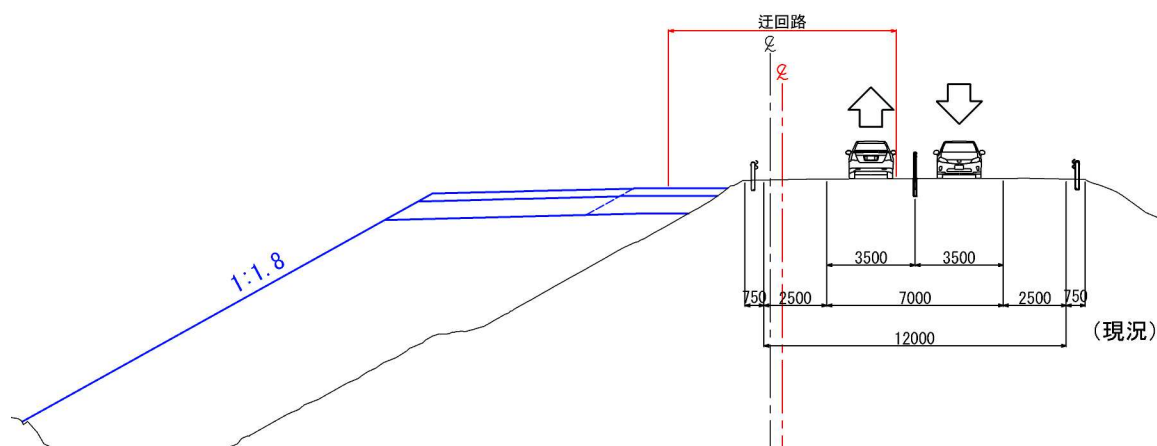
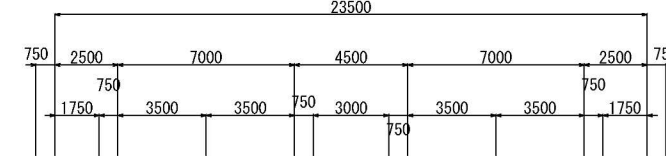


横断図 縮尺1:300

STA. 810+00.000
(完成)



STA. 811+40.000
(完成)



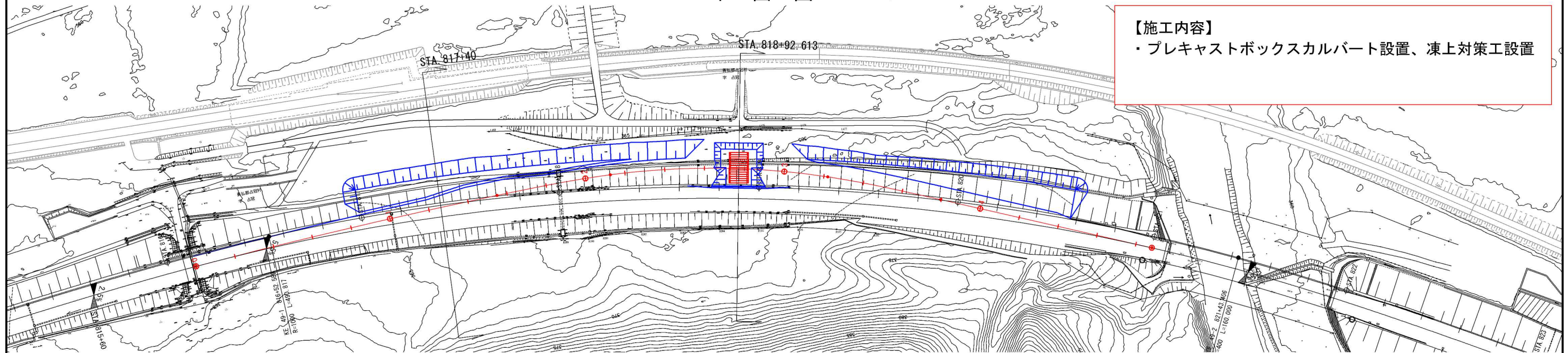
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（3）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（４）

【ステップ２－１（終点側）】

平面図 縮尺1:2,000

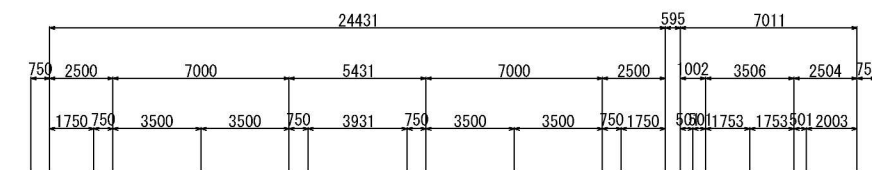


横断図 縮尺1:300

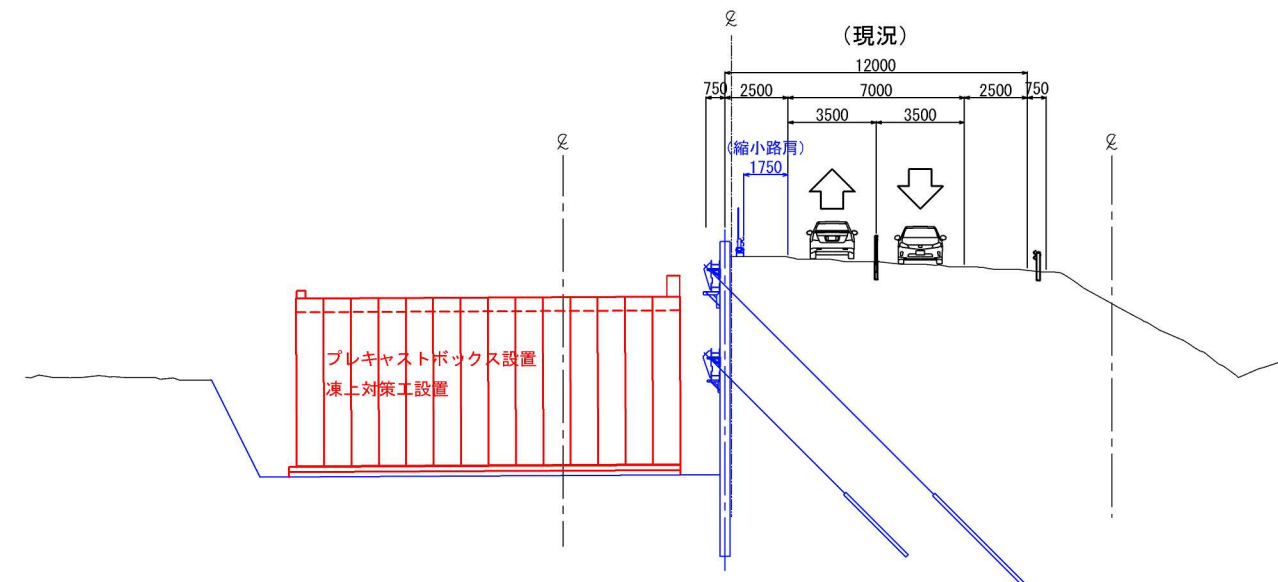
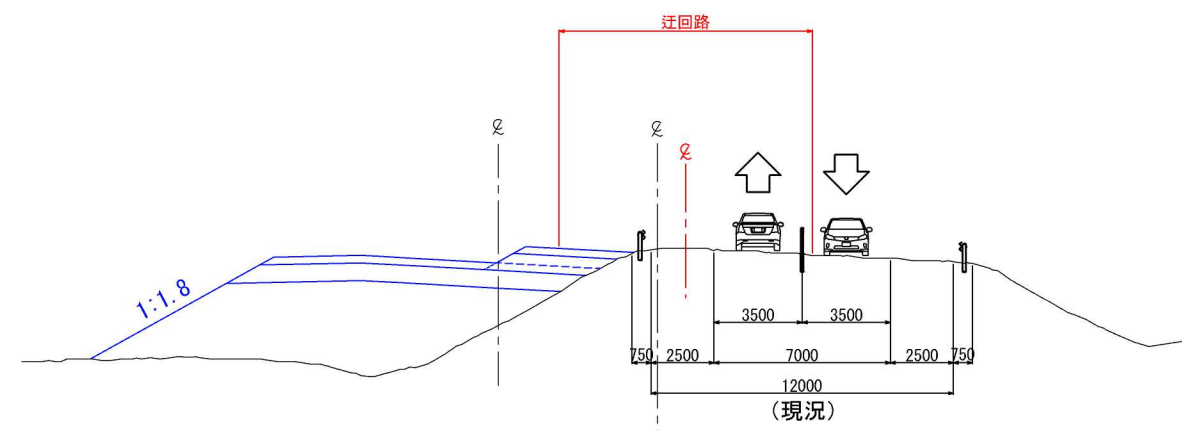
STA. 817+39.012
STA. 817+40.000



STA. 818+90.624
STA. 818+92.613 (完成)



STA. 1+77.545



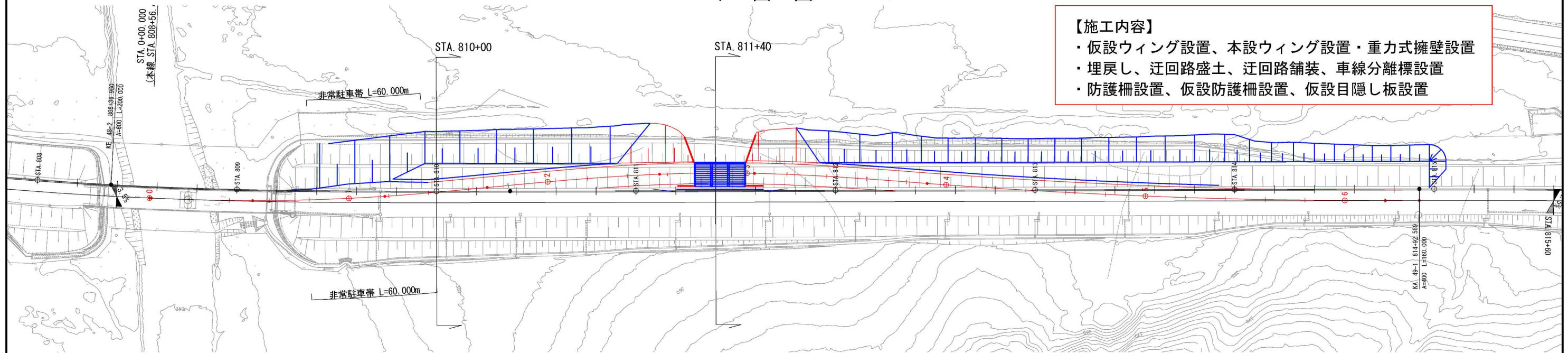
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（４）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（5）

【ステップ2-2（起点側）】

平面図 縮尺1:2,000



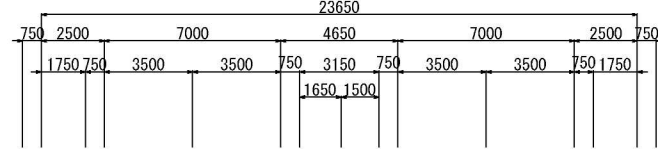
【施工内容】

- ・ 仮設ウイング設置、本設ウイング設置・重力式擁壁設置
- ・ 埋戻し、迂回路盛土、迂回路舗装、車線分離標設置
- ・ 防護柵設置、仮設防護柵設置、仮設目隠し板設置

横断図 縮尺1:300

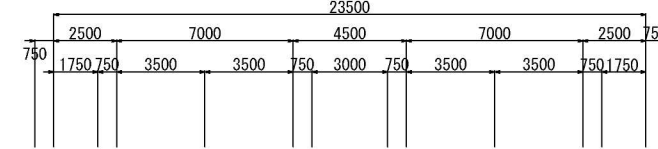
STA. 810+00.000

(完成)



STA. 811+40.000

(完成)



(迂回路)

9035

753 1004 7027 1004 753

3514 3514

迂回路舗装

防護柵

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

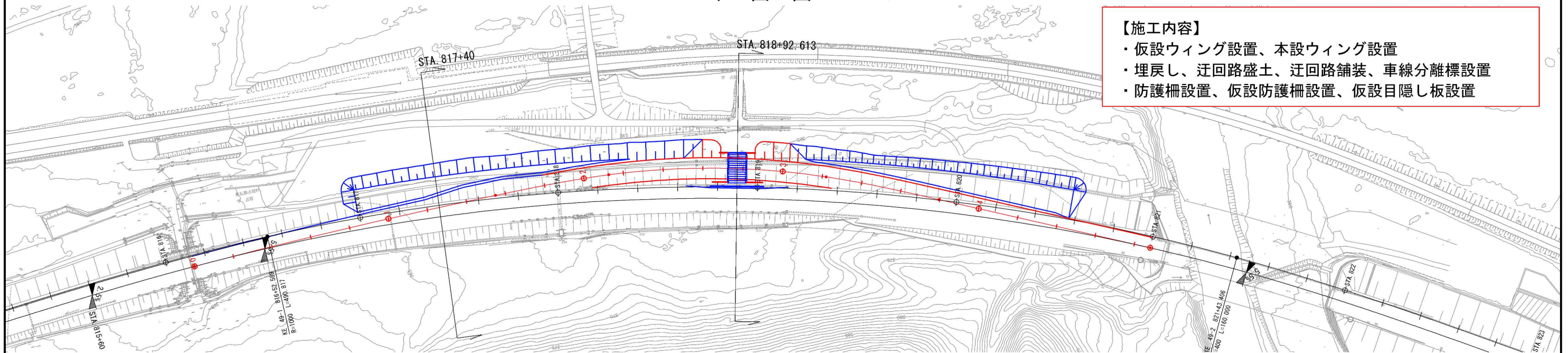
Q

Q

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（6）

【ステップ2-2（終点側）】

平面図 縮尺1:2,000

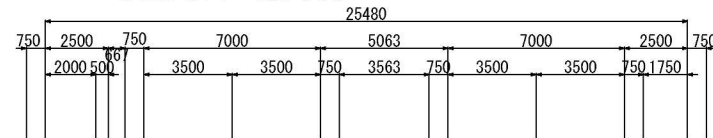


【施工内容】

- ・仮設ウィング設置、本設ウィング設置
- ・埋戻し、迂回路盛土、迂回路舗装、車線分離標設置
- ・防護柵設置、仮設防護柵設置、仮設目隠し板設置

横断図 縮尺1:300

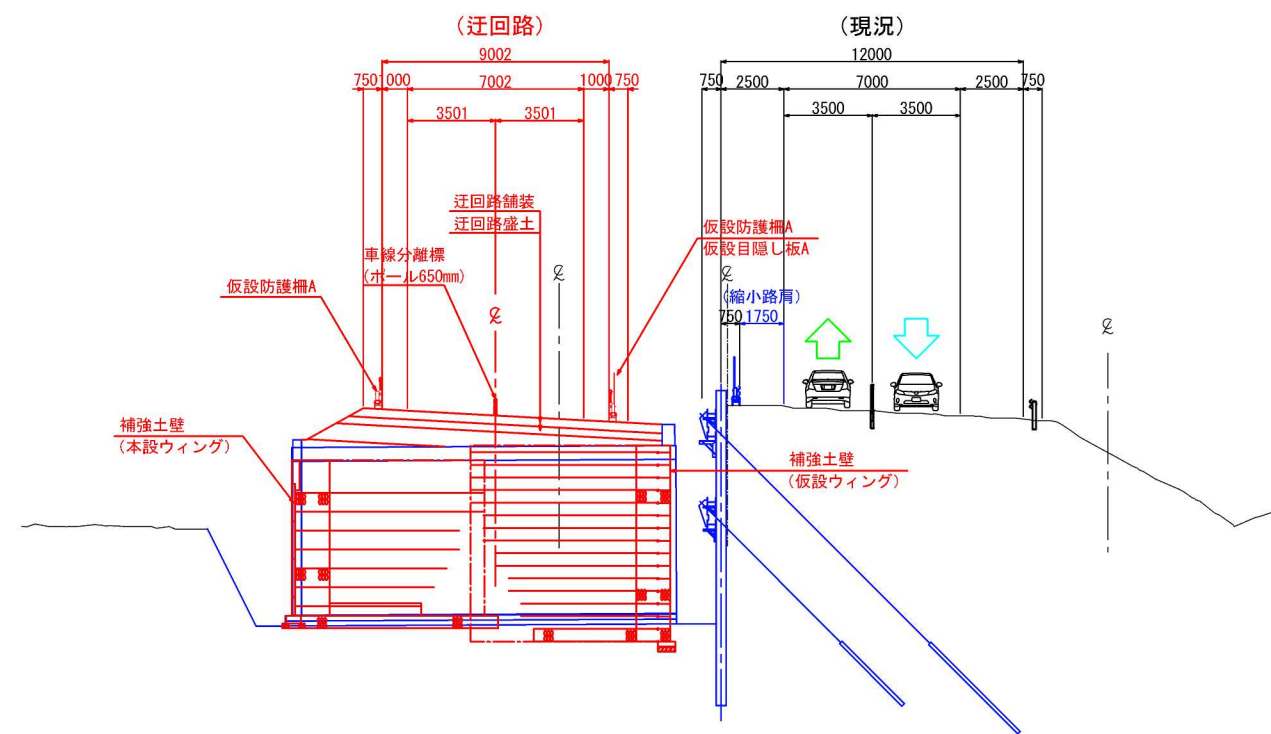
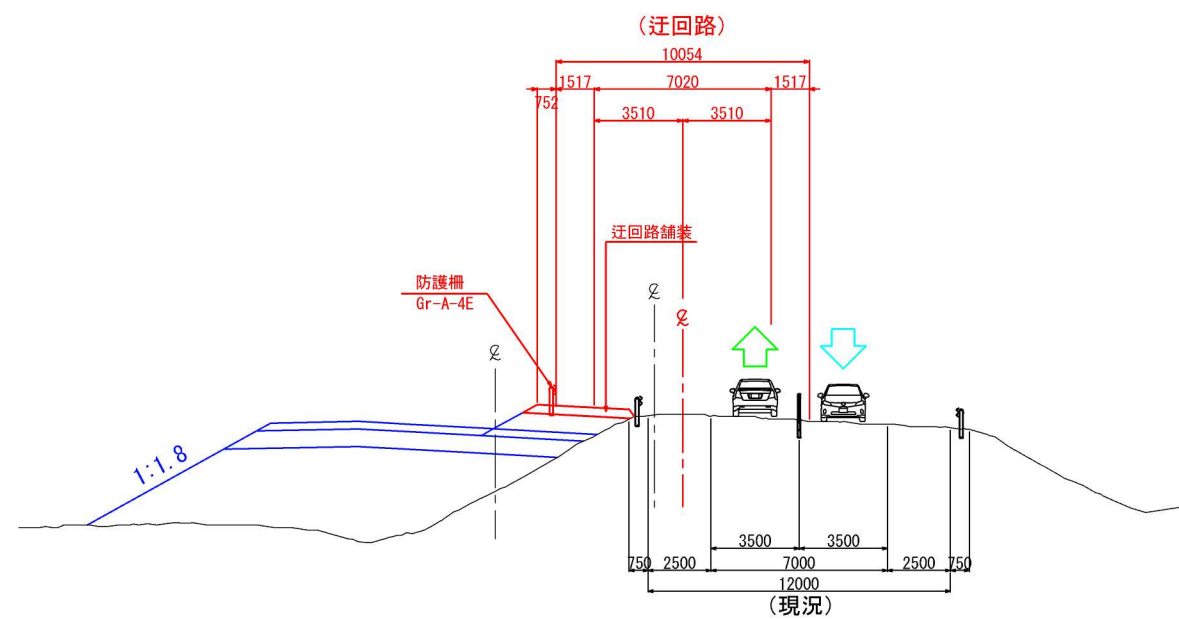
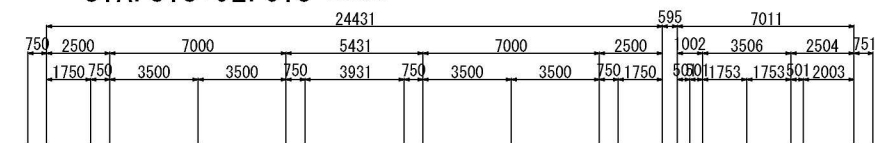
STA. 817+39.012
STA. 817+40.000（完成）



STA. 818+90.624

STA. 818+92.613（完成）

STA. 1+77.545



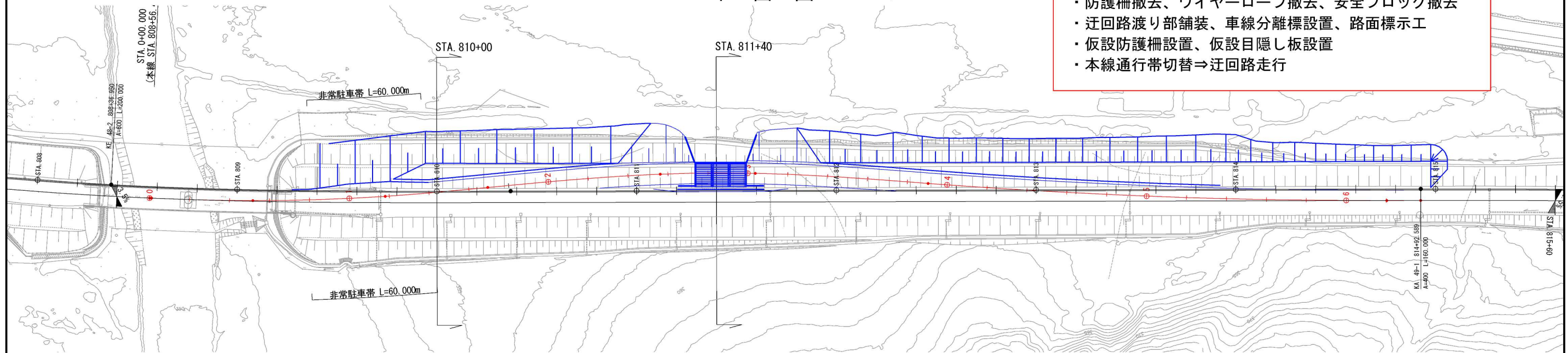
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（6）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（7）

【ステップ3-1（起点側）】

平面図 縮尺1:2,000



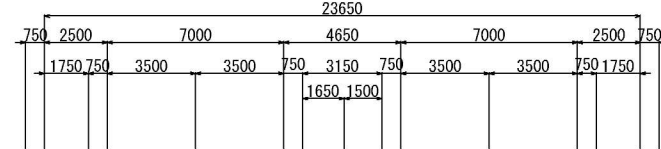
【施工内容（通行止時）】

- ・防護柵撤去、ワイヤーロープ撤去、安全ブロック撤去
- ・迂回路渡り部舗装、車線分離標設置、路面標示工
- ・仮設防護柵設置、仮設目隠し板設置
- ・本線通行帯切替⇒迂回路走行

横断面図 縮尺1:300

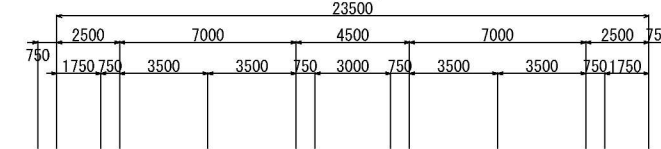
STA. 810+00.000

(完成)

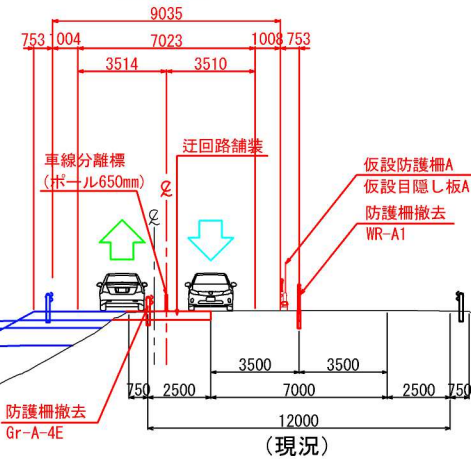


STA. 811+40.000

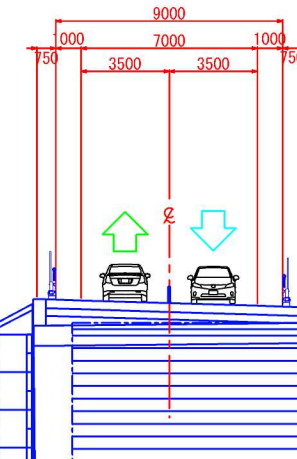
(完成)



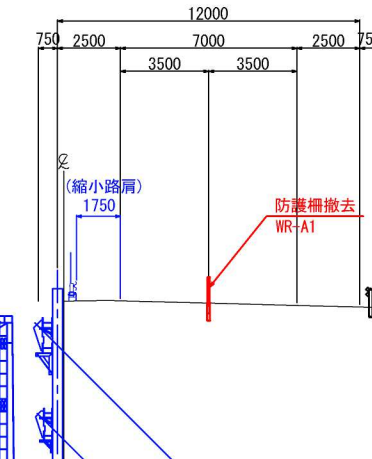
(迂回路)



(迂回路)



(現況)



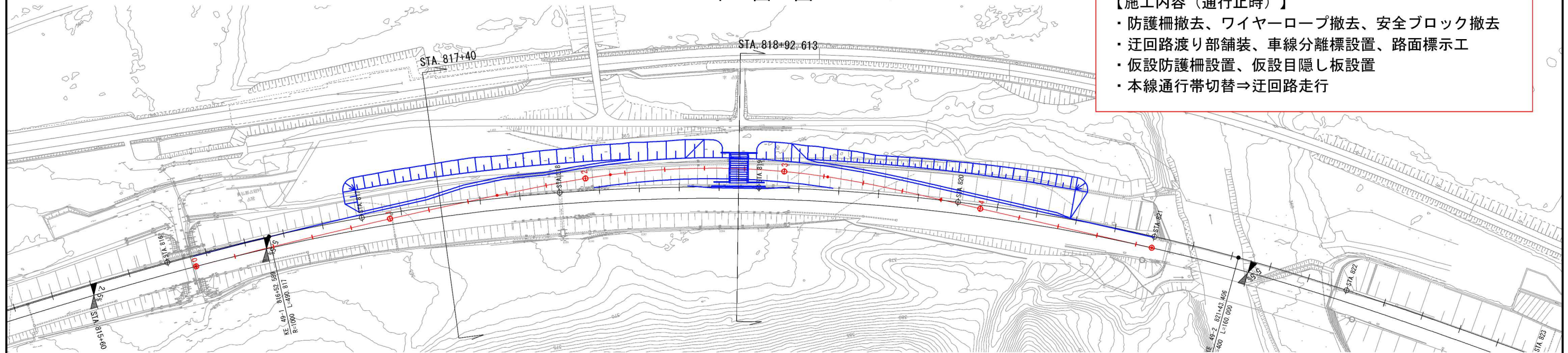
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（7）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（8）

【ステップ3-1（終点側）】

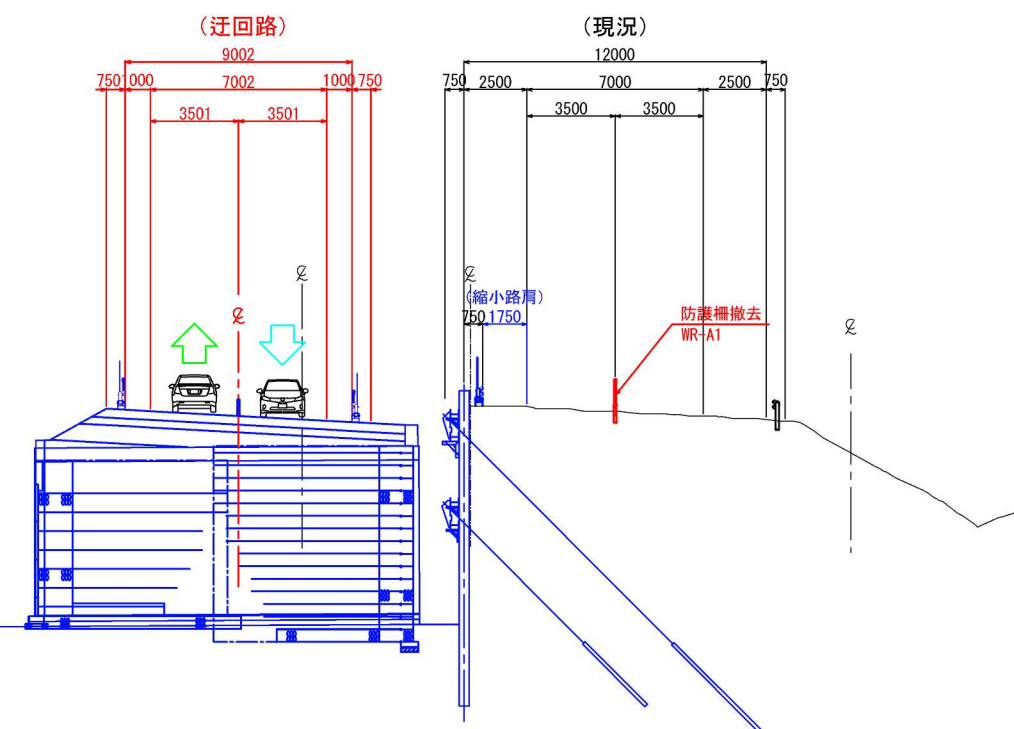
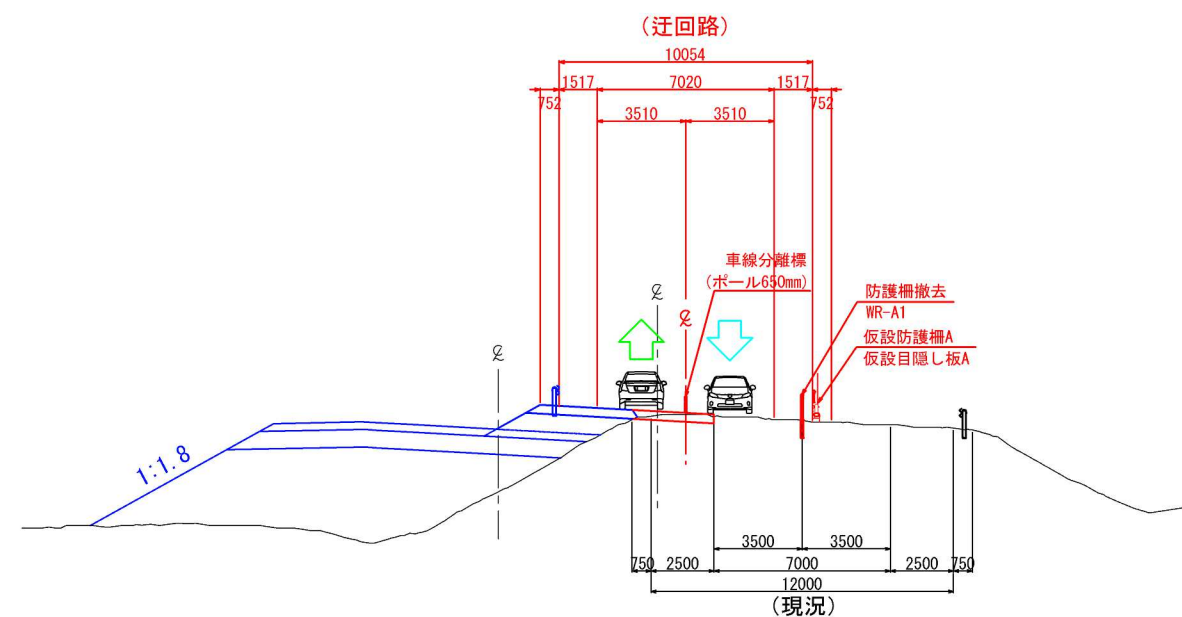
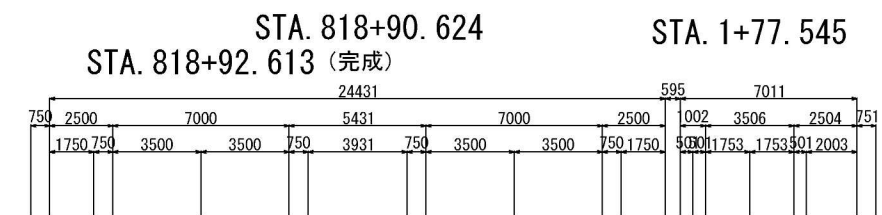
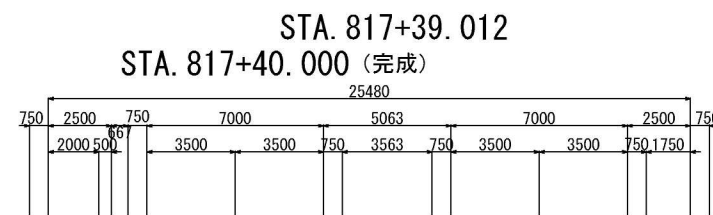
平面図 縮尺1:2,000



【施工内容（通行止時）】

- ・防護柵撤去、ワイヤーロープ撤去、安全ブロック撤去
- ・迂回路渡り部舗装、車線分離標設置、路面標示工
- ・仮設防護柵設置、仮設目隠し板設置
- ・本線通行帯切替⇒迂回路走行

横断図 縮尺1:300



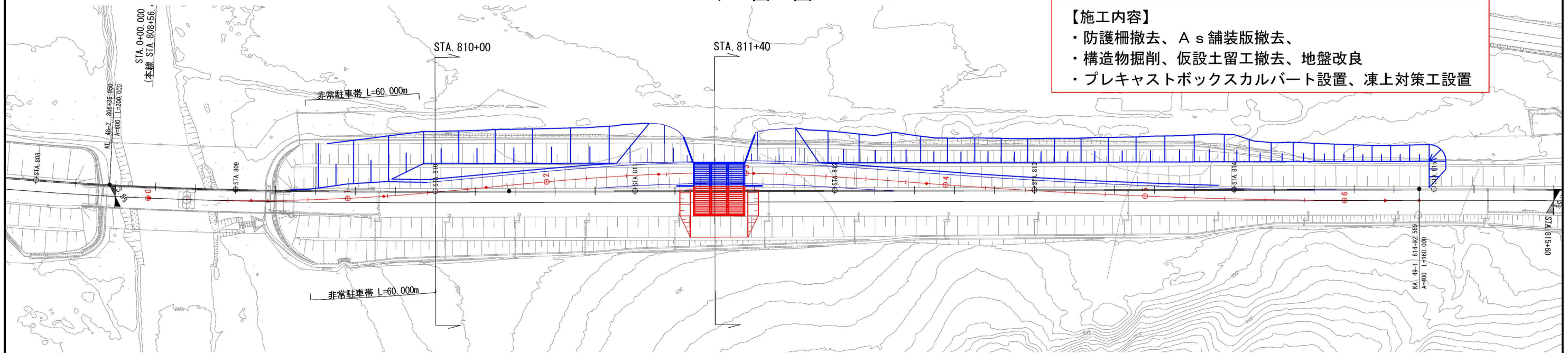
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（1）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（9）

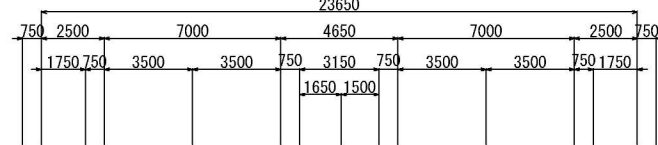
【ステップ3-2（起点側）】

平面図 縮尺1:2,000

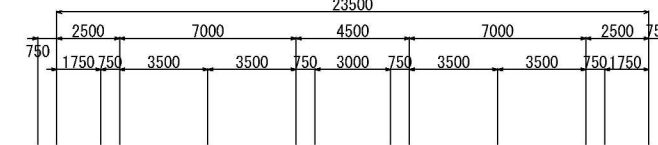


横断面図 縮尺1:300

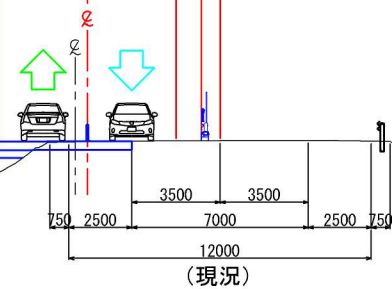
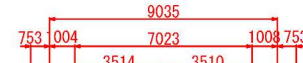
STA. 810+00.000
(完成)



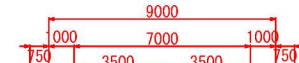
STA. 811+40.000
(完成)



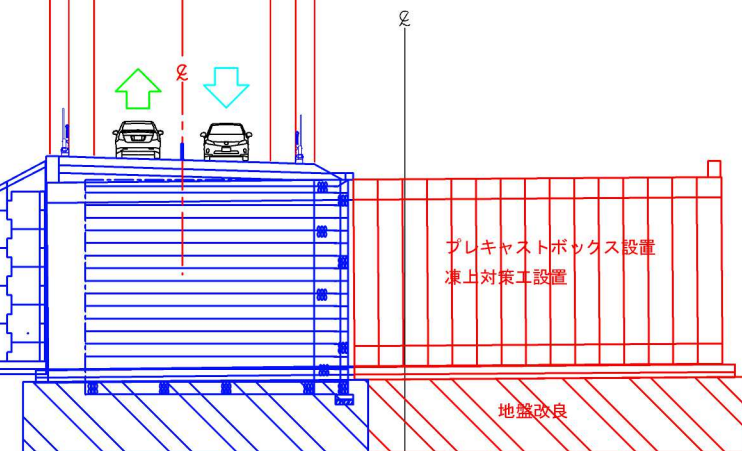
(迂回路)



(迂回路)



(現況)



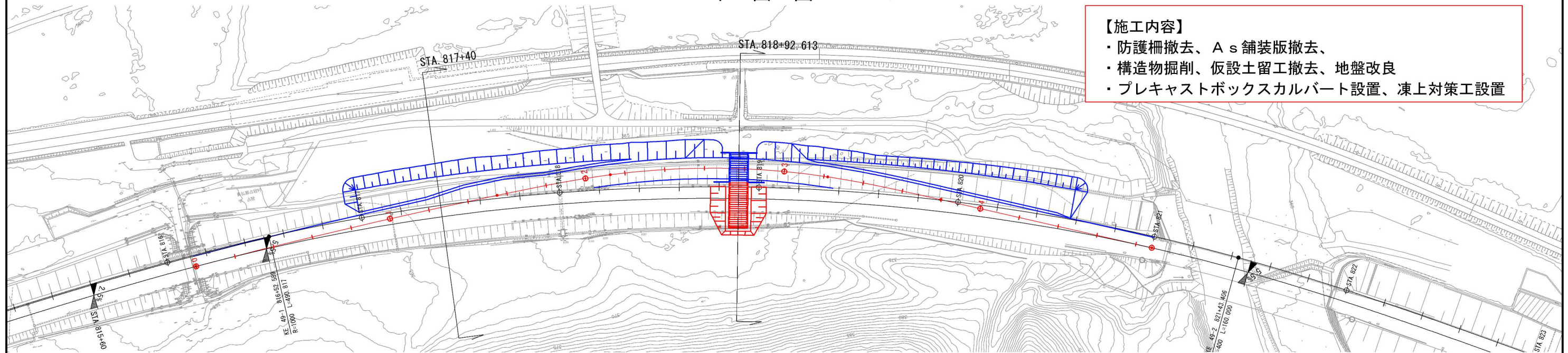
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（9）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（10）

【ステップ3-2（終点側）】

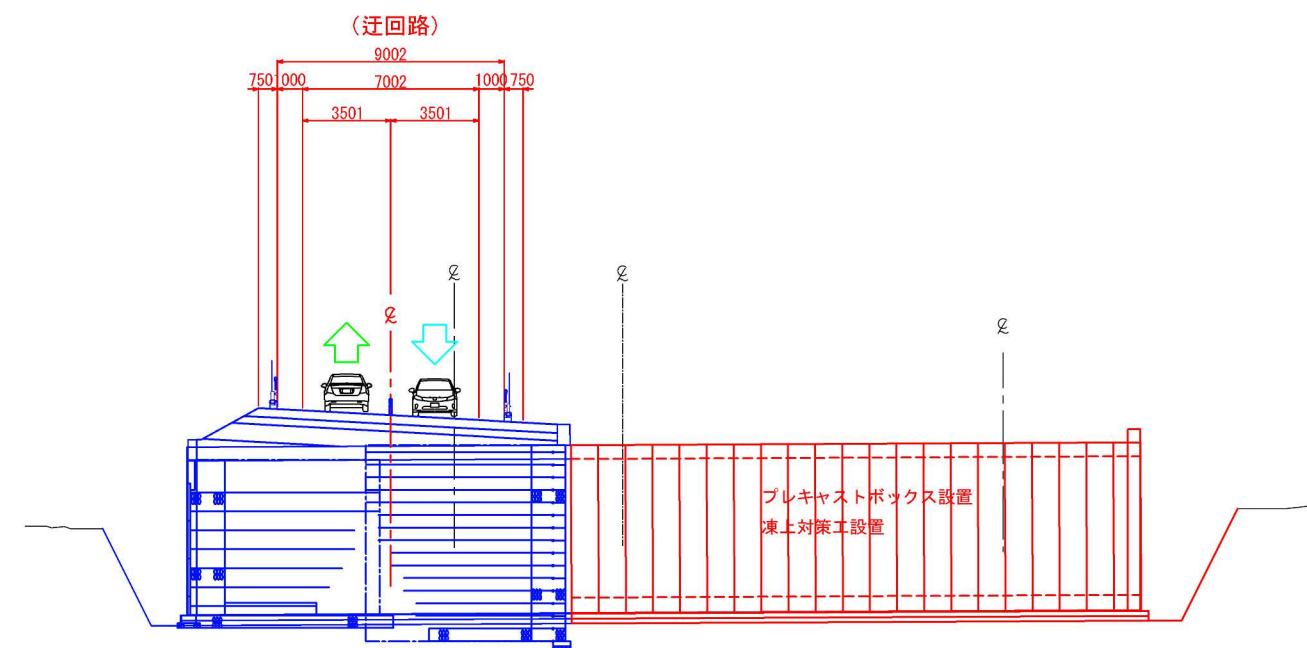
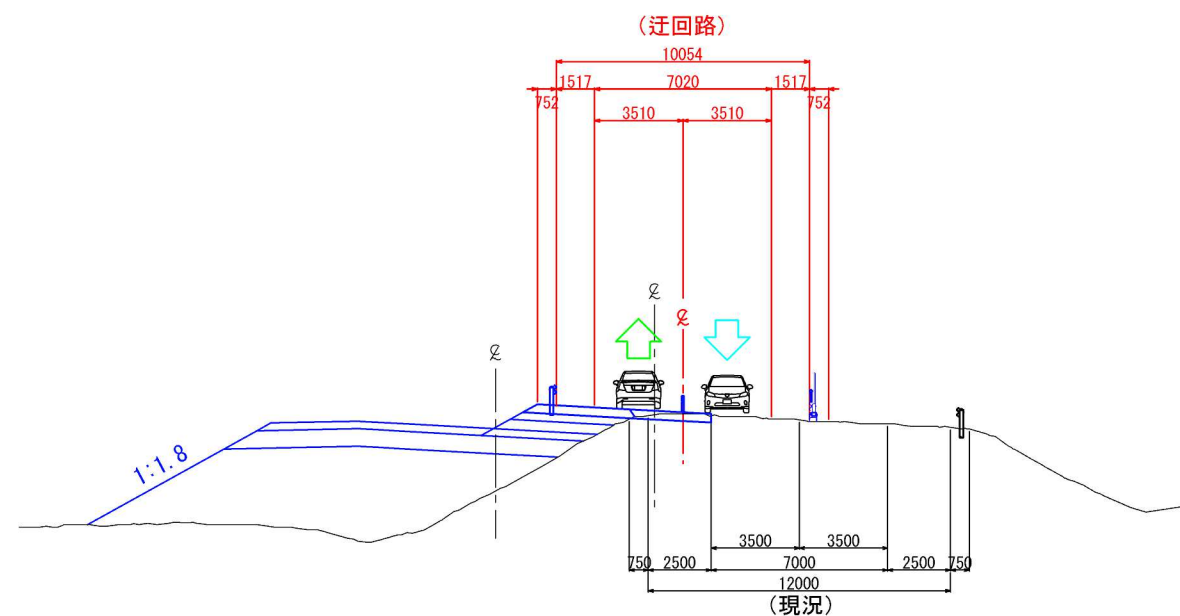
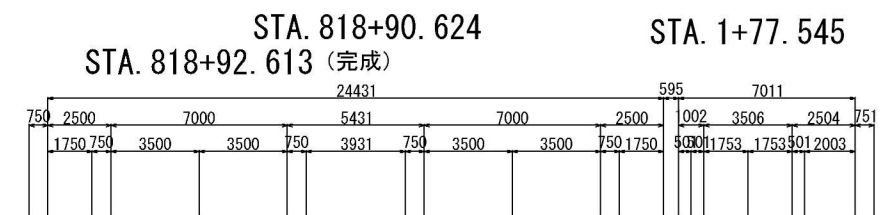
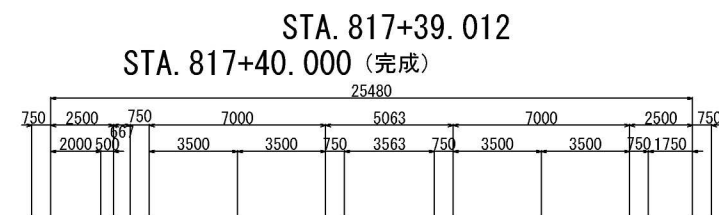
平面図 縮尺1:2,000



【施工内容】

- ・防護柵撤去、As舗装版撤去、
- ・構造物掘削、仮設土留工撤去、地盤改良
- ・プレキャストボックスカルバート設置、凍上対策工設置

横断図 縮尺1:300



赤：施工対象
青：施工完了

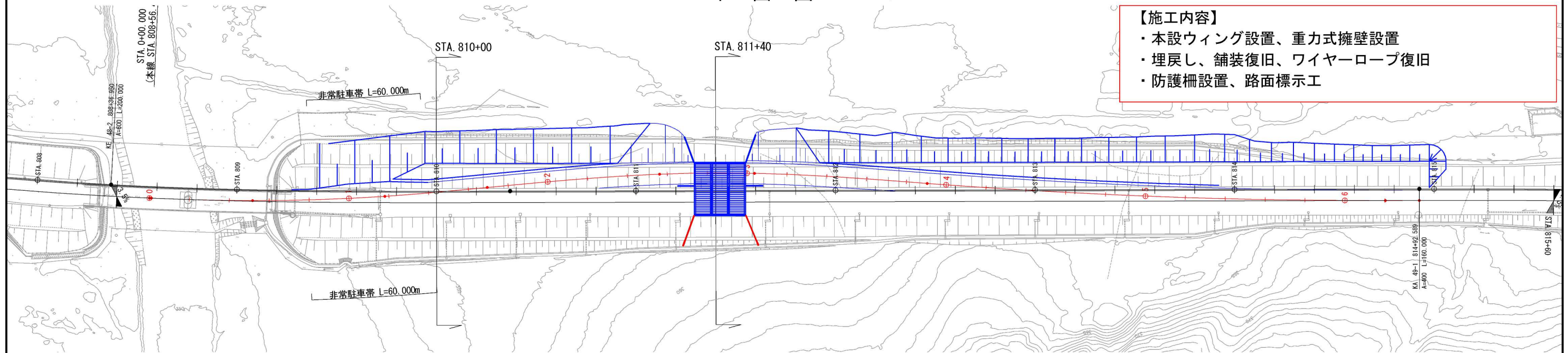
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（10）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（11）

35 / 43

【ステップ3-3（起点側）】

平面図 縮尺1:2,000

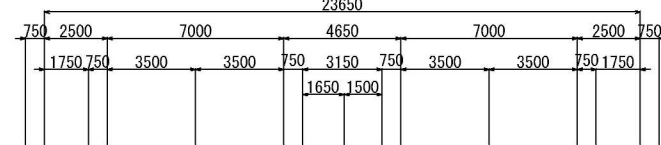


【施工内容】

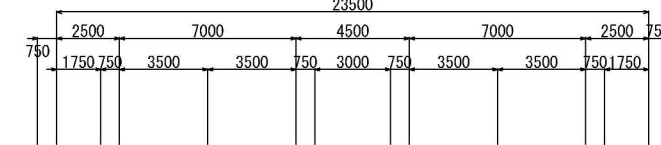
- ・本設ウィング設置、重力式擁壁設置
- ・埋戻し、舗装復旧、ワイヤーロープ復旧
- ・防護柵設置、路面標示工

横断図 縮尺1:300

STA. 810+00.000
(完成)



STA. 811+40.000
(完成)



(迂回路)

9035
753 1004 7023 1008 753

3514 3510

750 2500 3500 7000 3500 2500 750

1650 1500

12000

(現況)

1:1.8

750 2500 3500 7000 3500 2500 750

12000

(現況)

(迂回路)

9000
1000 7000 1000

3500 3500

750 2500 3500 7000 3500 2500 750

12000

(現況復旧)

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

(現況復旧)

12000
750 2500 3500 7000 3500 2500 750

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

12000

防護柵

WR-A1 (R)

防護柵

Gr-A-4E (R)

舗装復旧

防護柵

Gr-A-4E (R)

補強土壁

(本設ウィング)

重力式擁壁

赤：施工対象

青：施工完了

赤：施工対象
青：施工完了

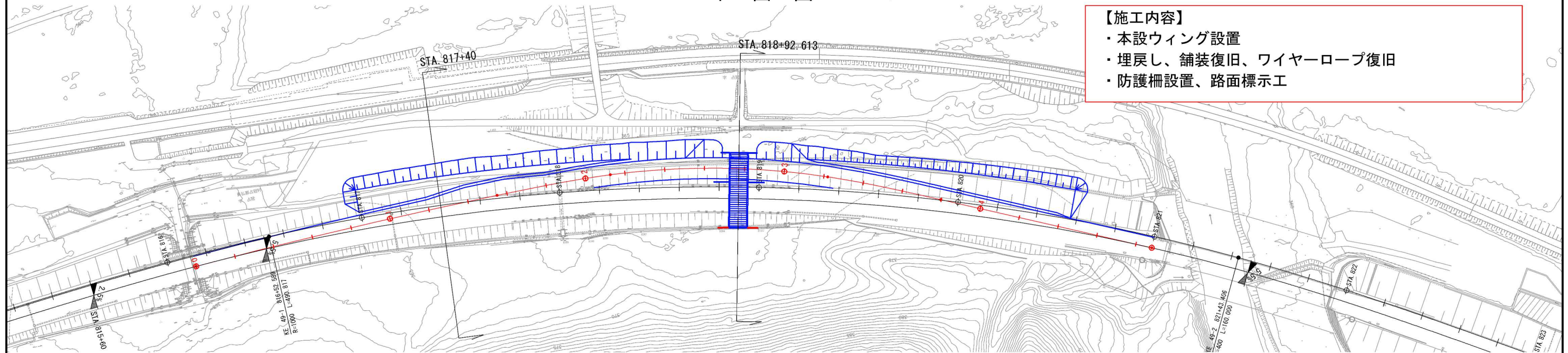
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（11）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図 (12)

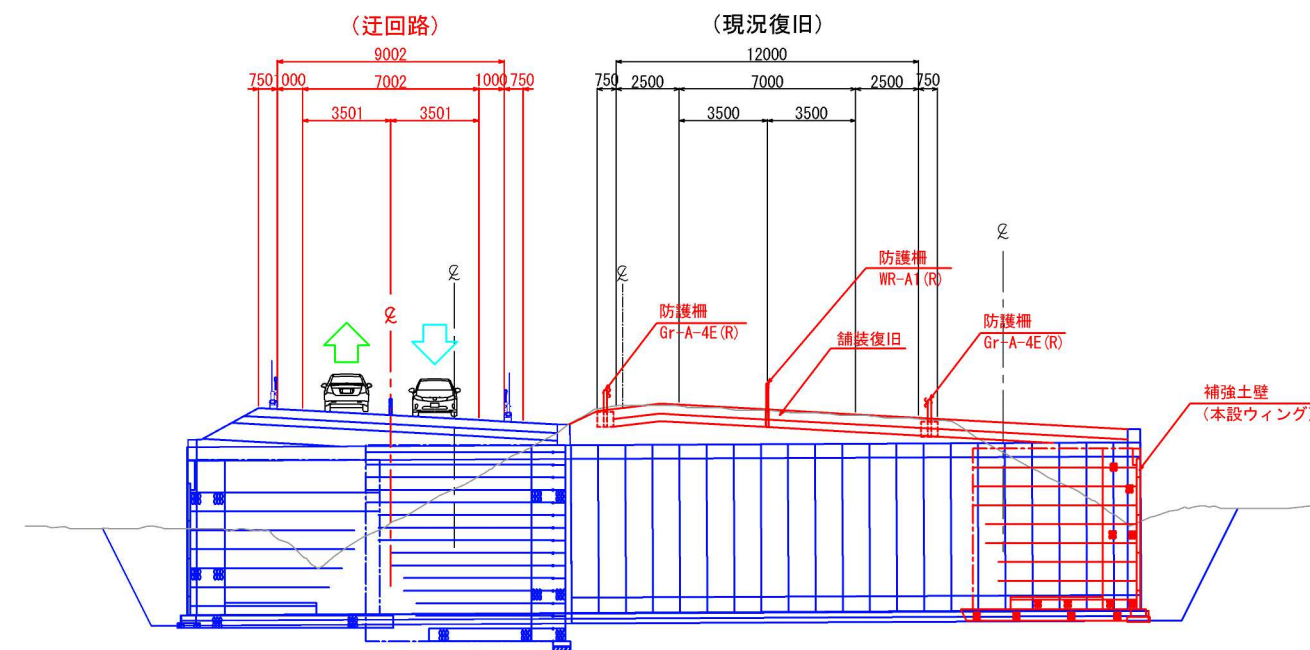
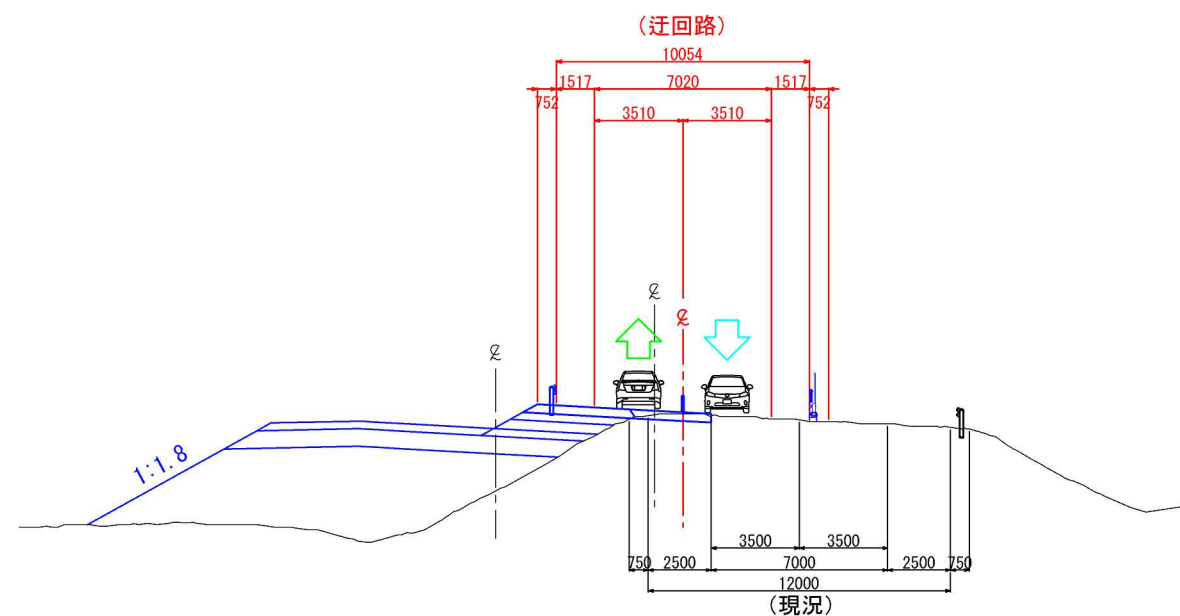
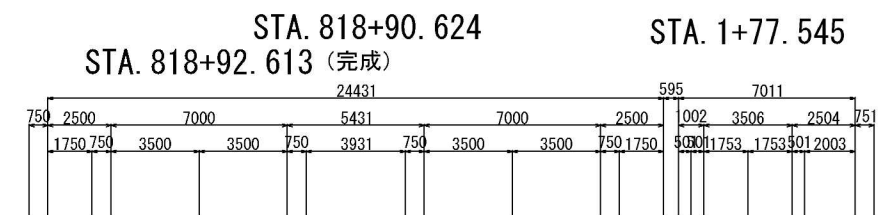
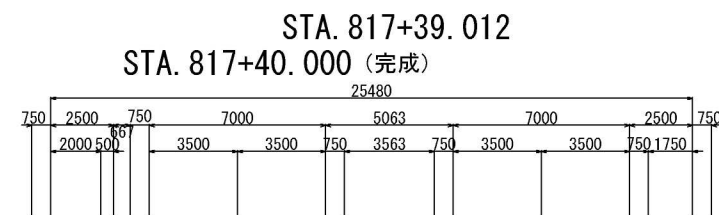
36 / 43

【ステップ3-3 (終点側)】

平面図 縮尺1:2,000



横断図 縮尺1:300



赤：施工対象
青：施工完了

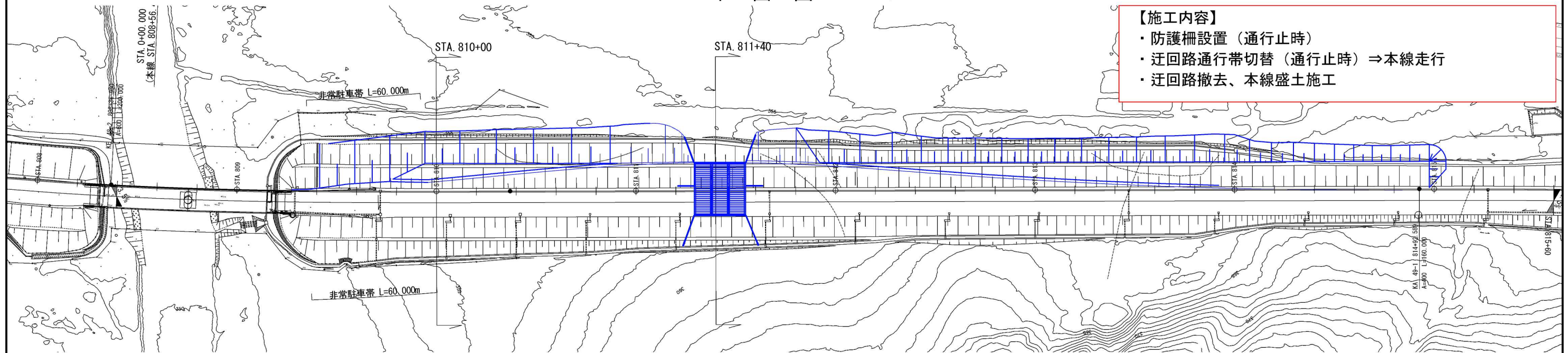
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図 (12)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図（13）

37 / 43

【ステップ3-4（起点側）】

平面図 縮尺1:2,000



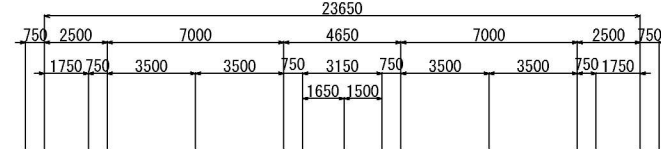
【施工内容】

- ・防護柵設置（通行止時）
- ・迂回路通行帯切替（通行止時）⇒本線走行
- ・迂回路撤去、本線盛土施工

横断図 縮尺1:300

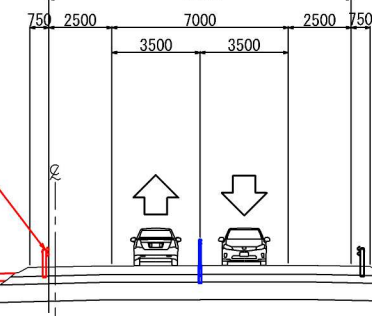
STA. 810+00.000

(完成)



(現況復旧)

12000



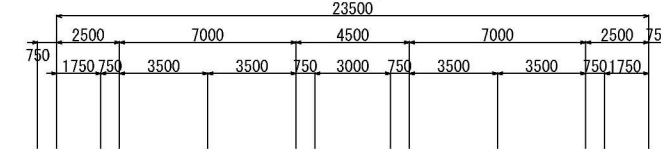
本線施工

防護柵
Gr-A-4E(R)

1:1.8

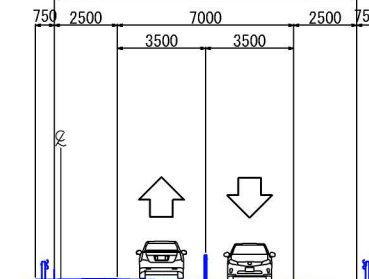
STA. 811+40.000

(完成)



(現況復旧)

12000



本線施工

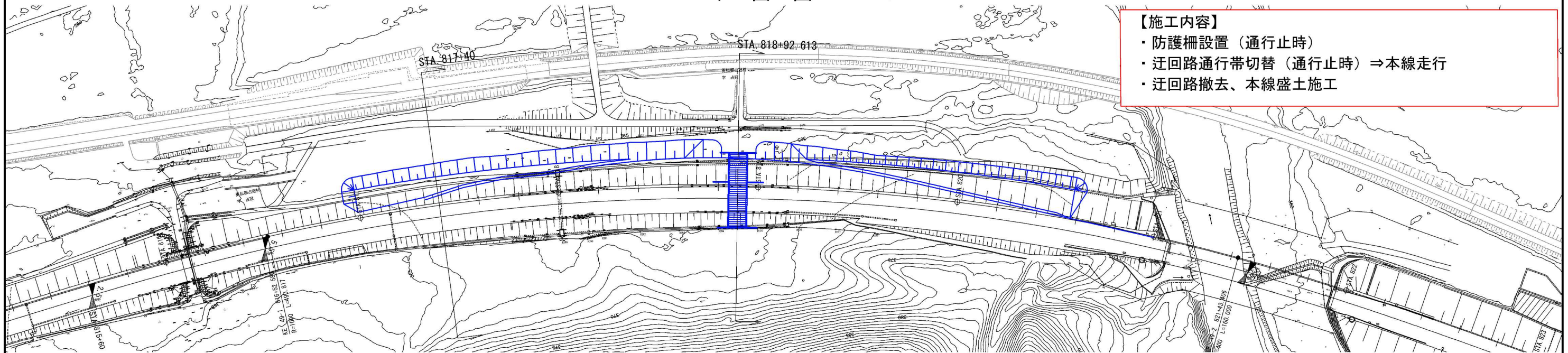
赤：施工対象
青：施工完了

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図（13）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		

占冠PAボックスカルバート概略施工ステップ図 (14)

【ステップ3-4 (終点側)】

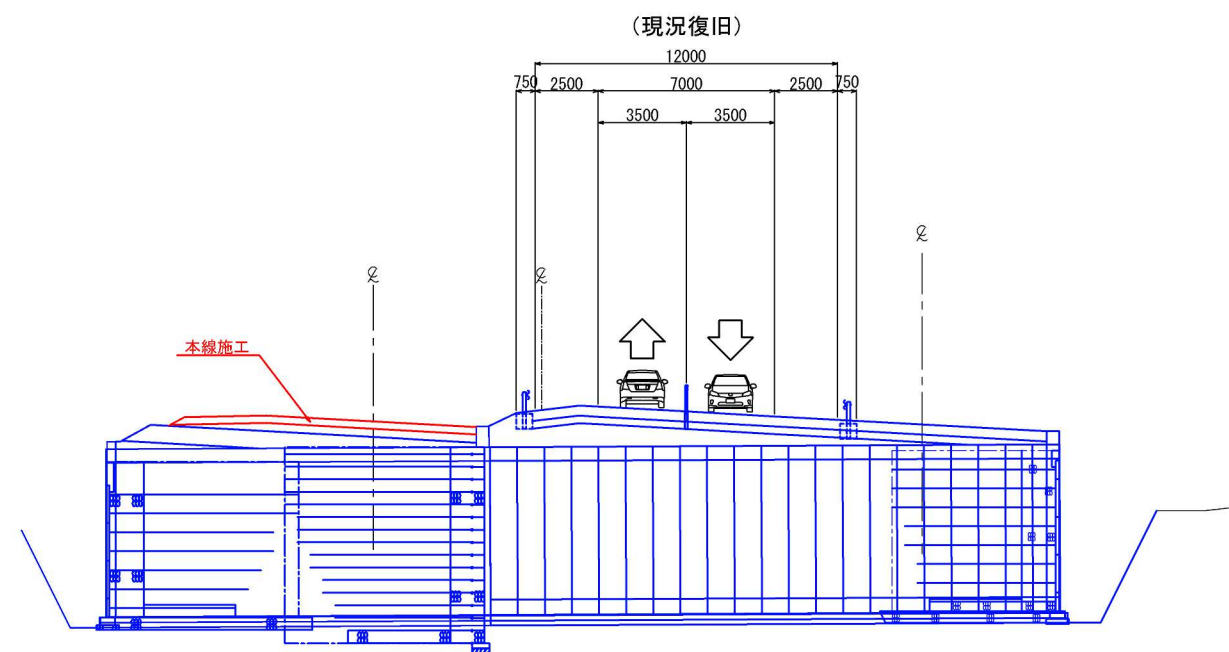
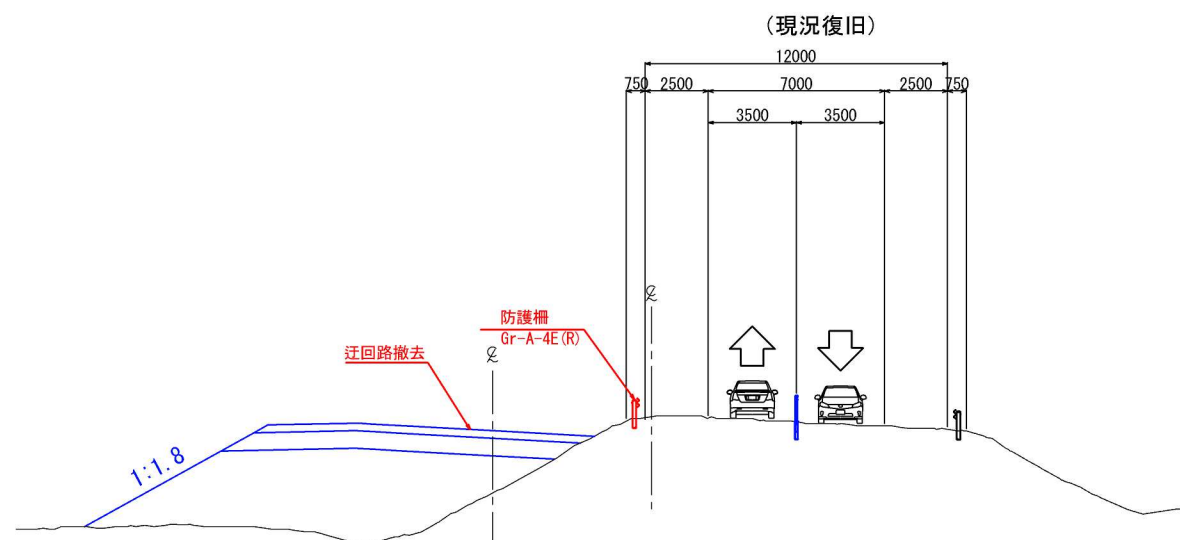
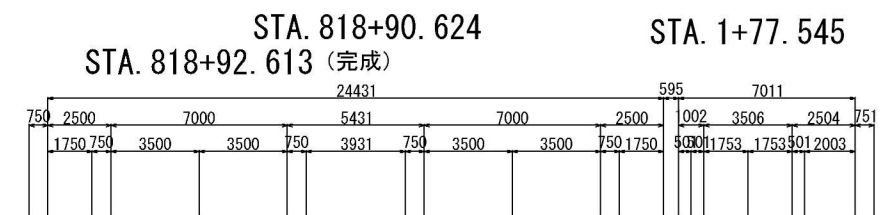
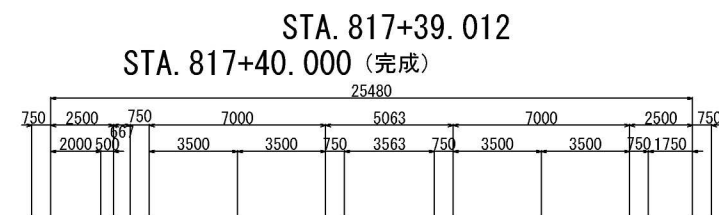
平面図 縮尺1:2,000



【施工内容】

- ・ 防護柵設置 (通行止時)
- ・ 迂回路通行帯切替 (通行止時) ⇒ 本線走行
- ・ 迂回路撤去、本線盛土施工

横断図 縮尺1:300

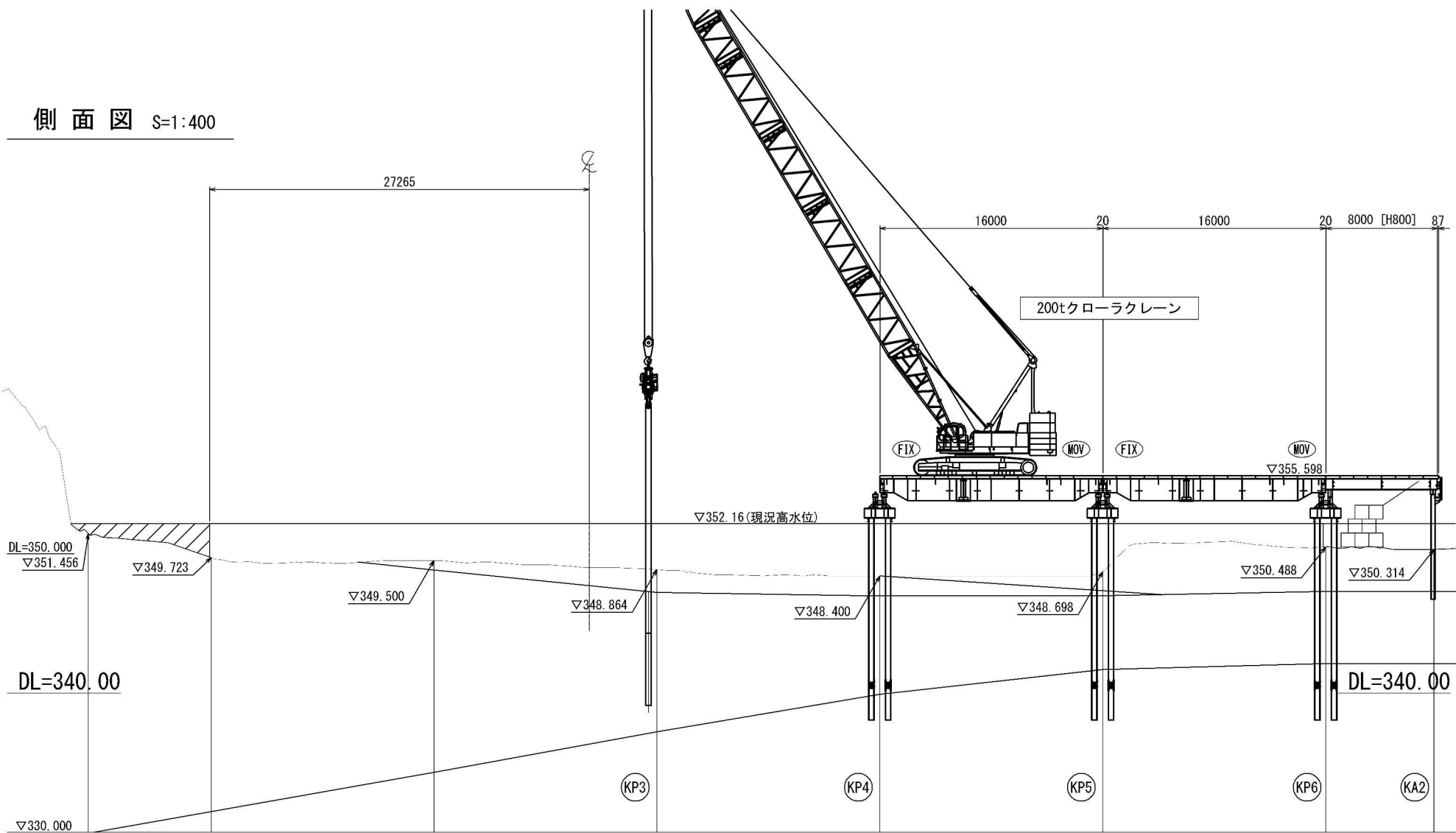


赤：施工対象
青：施工完了

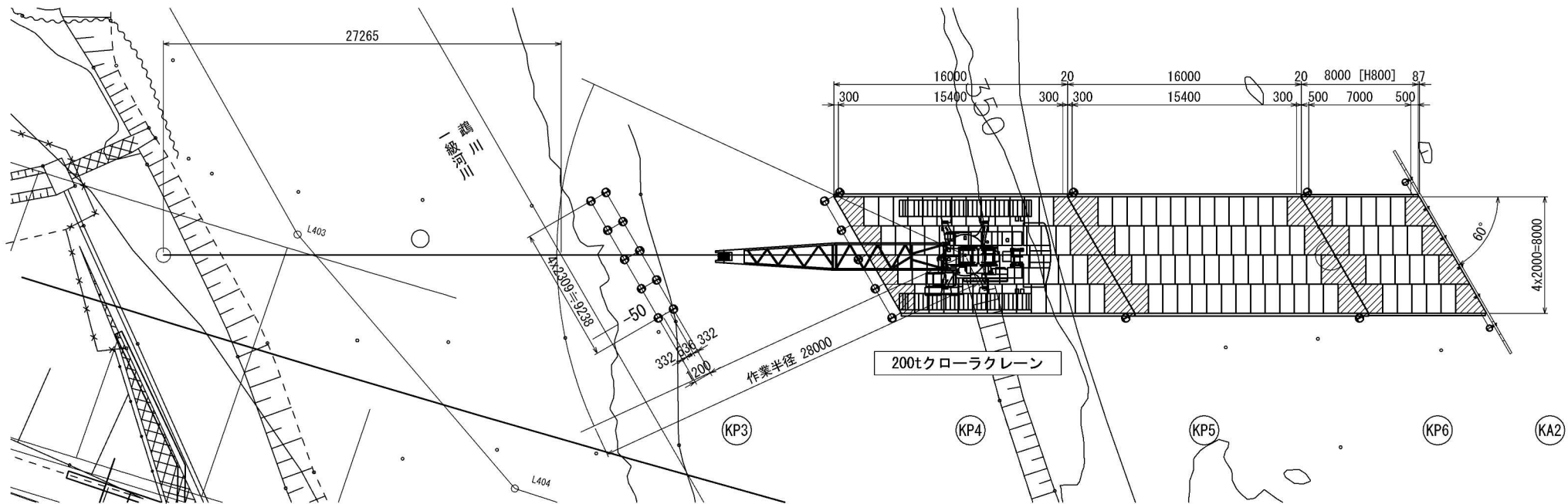
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	占冠PAボックスカルバート 概略施工ステップ図 (14)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		

仮栈橋A 施工計画図（参考図）
（本流鵲川第一橋）

側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



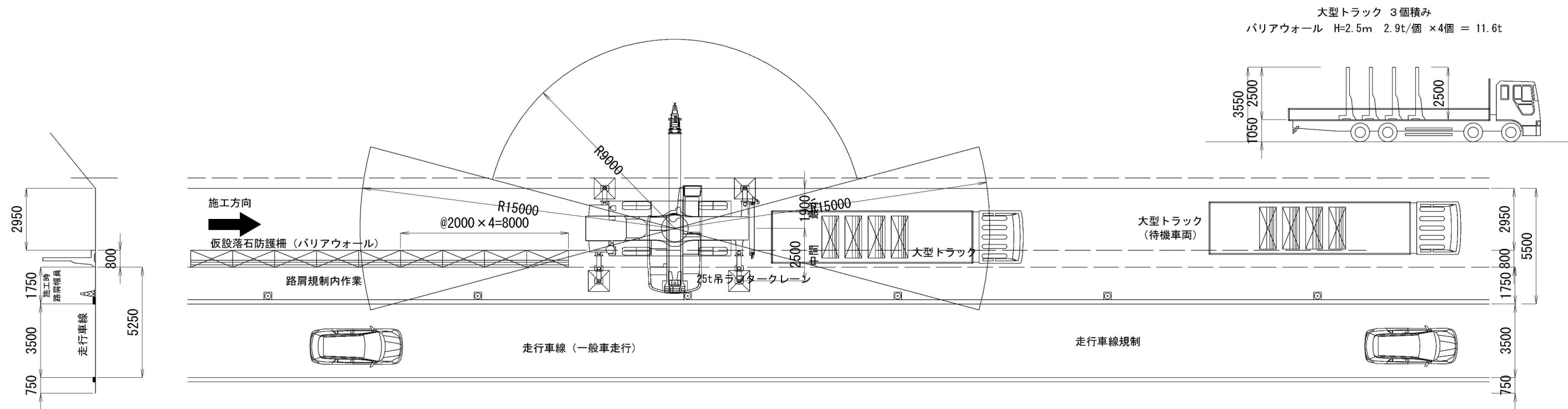
200tクローラークレーン
主ブーム定格荷重表（ヘビートップブーム）
（単位：t）

作業半径 (m)	主ブーム長さ (m)												
	15.25	18.30	21.35	24.40	27.45	30.50	33.50	36.55	39.60	42.65	45.70		
4.6	200.0	197.9/	175.0/										
5.0	200.0	5.2	5.7	150.0/	150.0/								
6.0	189.8	189.6	175.0	6.2	6.8	125.0/	125.0/						
7.0	164.1	163.9	163.5	150.0	150.0	7.3	7.8	100.0/	100.0/				
8.0	144.5	144.3	143.9	143.5	143.3	125.0	125.0	8.3	8.9	98.8/	87.5/		
9.0	129.0	128.8	128.4	128.0	127.8	125.0	123.1	100.0	100.0	9.4	9.9		
10.0	116.5	116.3	115.8	115.5	115.2	114.8	114.6	100.0	100.0	96.7	87.5		
12.0	90.7	90.6	90.4	90.2	90.0	89.8	89.6	89.6	89.4	89.2	85.3		
14.0	72.1	73.0	72.7	72.5	72.3	72.1	71.9	71.8	71.6	71.4	71.3		
16.0	63.7/	61.0	60.7	60.4	60.2	60.0	59.8	59.7	59.4	59.2	59.1		
18.0	14.8	53.3/	52.4	52.1	51.4	51.2	50.8	50.8	50.5	50.3	50.2		
20.0		17.5	45.7	45.3	45.1	44.5	44.2	44.1	43.8	43.6	43.4		
22.0			45.4/	40.0	39.7	39.6	39.0	38.8	38.5	38.3	38.1		
24.0			20.1	38.4/	35.4	35.3	35.1	34.6	34.3	34.0	33.9		
26.0				22.7	32.8/	31.7	31.5	31.5	30.8	30.5	30.3		
28.0					25.4	28.7	28.5	28.5	28.2	27.6	27.4		
30.0							26.0	25.9	25.7	25.5	25.3		
32.0							25.2/	23.7	23.5	23.3	23.1		
34.0							30.7	22.5/	21.6	21.4	21.2		
36.0								33.3	20.0/	19.7	19.5		
38.0									35.9	18.2	18.0		
40.0										17.8/	16.7		
42.0										38.6	16.0/		
44.0											41.2		

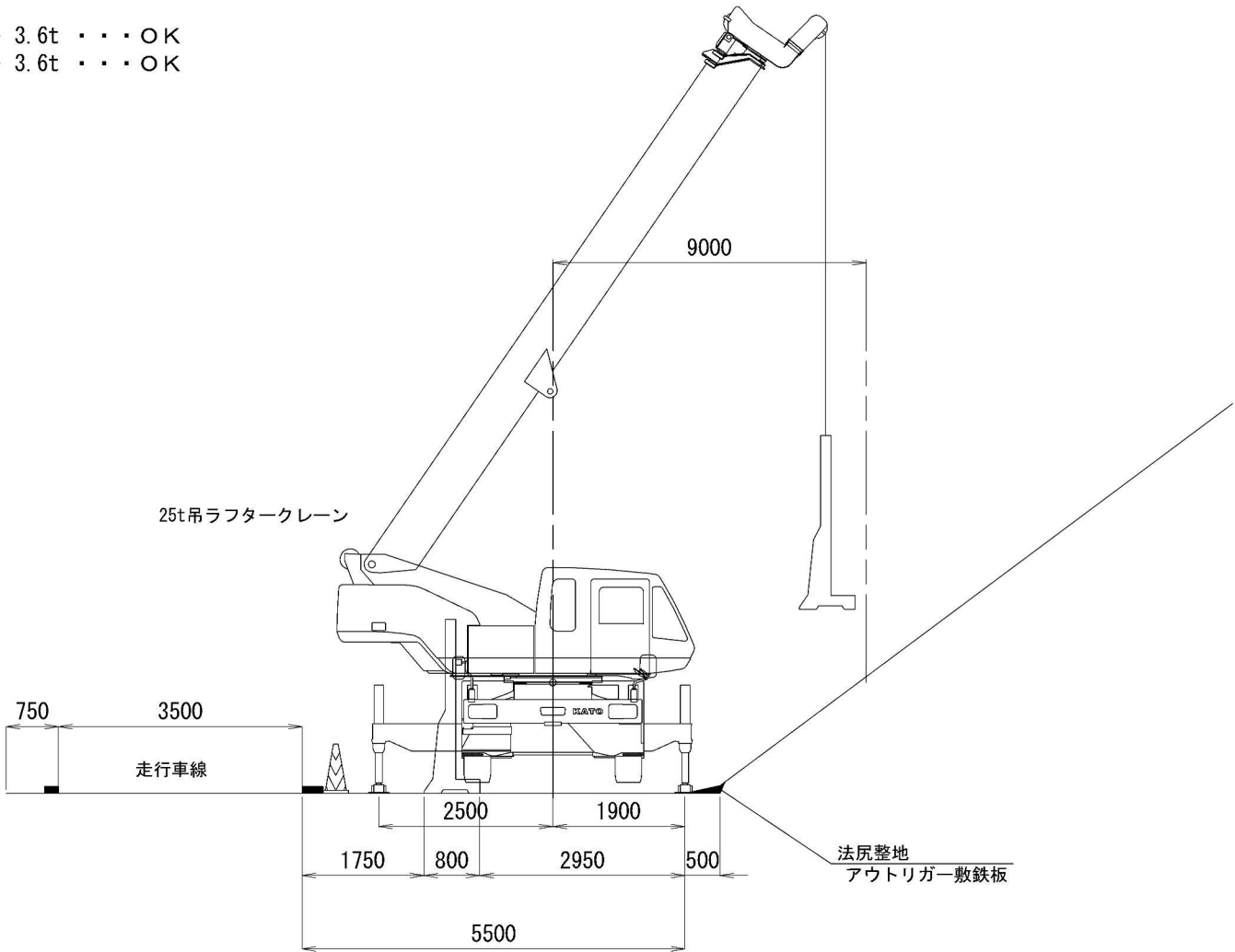
200 t クローラークレーン
作業半径 R=28.000m
最大吊荷重 22.0t (杭引抜時)
定格荷重 27.6t
ブーム長さ 42.65m
吊荷重 22.0t < 定格荷重 27.6t OK

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	仮栈橋A 施工計画図（参考図） （本流鵲川第一橋）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

落石護柵施工計画図（参考図）



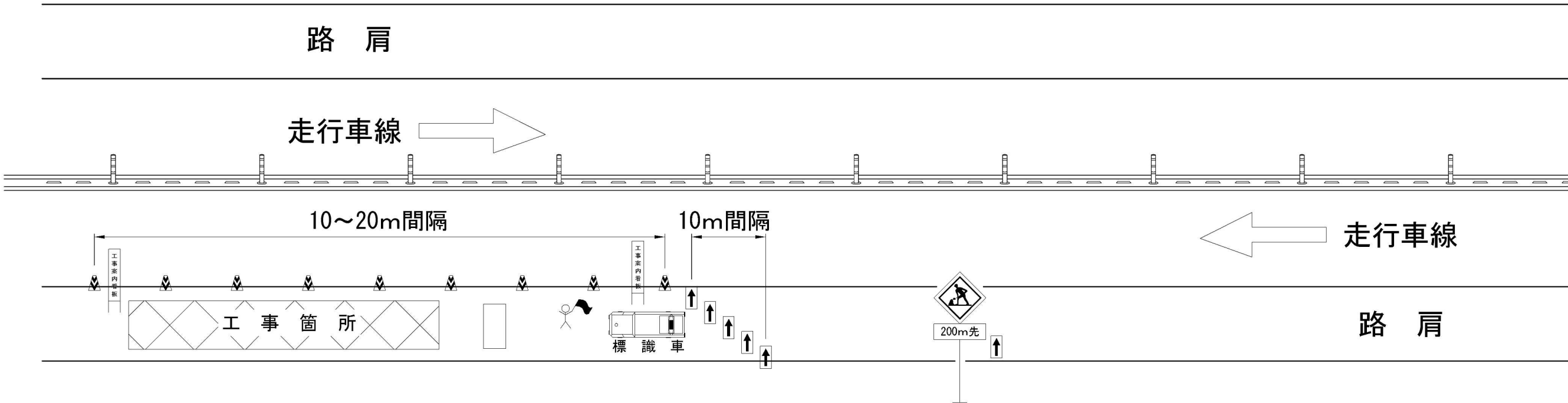
25t吊ラフタークレーン 作業半径の検討
バリアウォール H=2.5m
ブロック重量+フック+吊具= 2.9+0.3+0.05= 3.25t
安全率0.9として 3.25÷0.9= 3.6t
定格総荷重表より 前方15° 範囲 15.0m/3.8t > 3.6t . . . OK
側方 範囲 9.0m/3.8t > 3.6t . . . OK



道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	落石防護柵施工計画図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

交通規制図（参考図）

路肩規制







標識車（標識装置字幕）

作業中

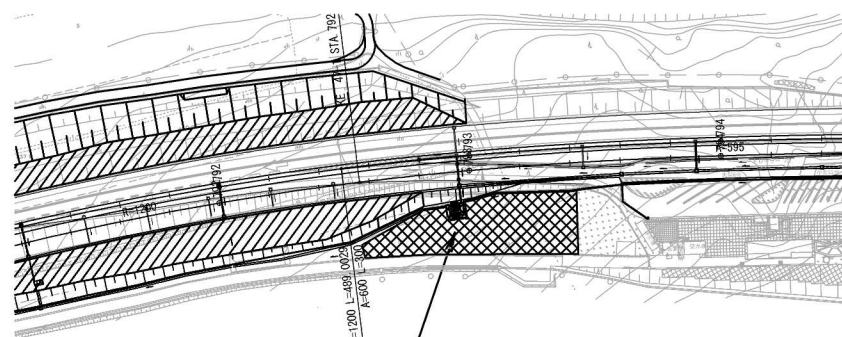
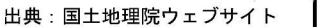
→

記号説明事項

-  交通監視員（交通監視員は交代要員も含め路肩規制工に含む）
-  矢印板（高輝度反射式又は自発光式）
-  ラバーコーン
-  進入車両停止装置（交通規制工で計上）

- ・ 危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ報告するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。
- ・ 作業箇所のラバーコーンは10m間隔とし、必要に応じて保安（警告）灯を設置するものとする。

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	交通規制図（参考図）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		



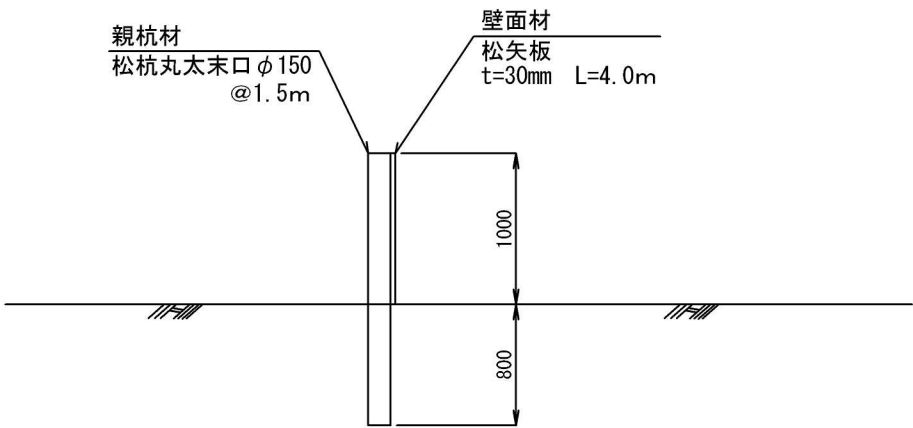
落石防護柵 保管場所

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	落石防護柵 保管場所 位置図（参考図）		
縮 尺	-	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 所 務 所		

土砂防止柵詳細図（参考図）

土砂防止柵 1 : 50

盛土のり面用

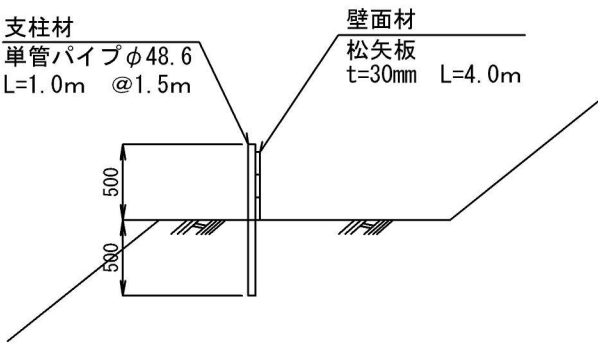


土砂防止柵材料表 10m当り

材 料	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
松 丸 太	φ150mm L=1.8m	本	7.0	親杭材
松 矢 板	t=30mm L=4.0m	m3	0.30	壁面材

切土のり面用

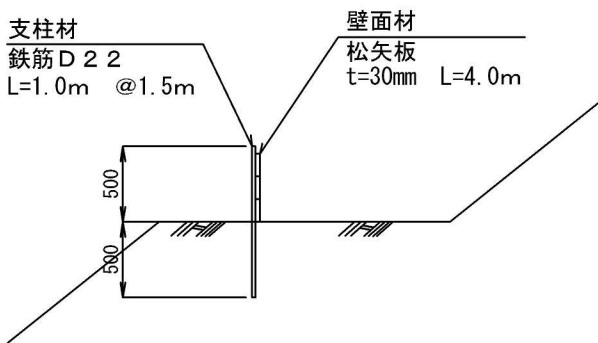
土中部



土砂防止柵材料表 10m当り

材 料	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
単管パイプ	φ48.6mm L=1.0m	本	7.0	支柱材
松 矢 板	t=30mm L=4.0m	m3	0.135	壁面材

岩部



土砂防止柵材料表 10m当り

材 料	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
鉄筋 D 22	D 22 L=1.0m	本	7.0	支柱材
松 矢 板	t=30mm L=4.0m	m3	0.135	壁面材

※岩部：ドリル削孔

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	土砂防止柵詳細図		
縮 尺	図示	図 面 番 号	—
設計会社名			
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 常 広 工 事 事 務 所		